

労働関連 3 指数の構築とその分析

大藪和雄*

Construction and Analysis of the Three Labor-Related Indices

Kazuo Ohyabu

要約

この研究ノートは、賃金構造基本統計調査を利用して労働関連 3 指数を構築し、実際にその計算を行ない、簡単な分析を試みる。最初に、主として、時間あたり賃金指数を時系列的に分析する。つぎに、都道府県間比較をとりあげ、横断面的に比較する。さらに、産業間比較、企業規模間比較、性別比較、雇用形態間比較も試みる。賃金構造基本統計調査は、主要産業に雇用される労働者について、その賃金の実態を労働者の雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにする厚生労働省の代表的調査である。

キーワード：時間あたり賃金指数、労働時間指数、労働投入指数、時系列分析、横断面分析

(Abstract)

This note attempts to construct, calculate and briefly analyze three labor-related indices using the Basic Survey on Wage Structure. First, we mainly analyze the hourly wage index in a time-series manner. Then, cross-sectional comparisons are made between prefectures. We will also attempt to make comparisons between industries, firm sizes, gender and employment status. The Basic Survey on Wage Structure clarifies the actual wages of workers employed in major industries by type of employment, type of work, occupation, sex, age, education, length of service, and occupational career.

Keywords: Hourly Wage Index, Hours Worked per Worker Index, Labor Input Index, Time-Series and Cross-Sectional Analysis

労働統計の中で賃金の動向を知る重要な統計として「賃金構造基本統計調査（厚生労働省）」がよく知られている。ここでは、この統計を利用して労働関連指数を計算してみよう。

1. 時間的比較のための指数算式について

記号を、 0 ：基準時、 1 ：比較時、 w ：時間あたり賃金、 h ：一人あたり労働時間、 l ：就業者数とする。左辺は総賃金の 0 時点に対する 1 時点の比（指数）である。これを、右辺で 3 つの項に分解する。第 1 項は時間あたり賃金指数、第 2 項は一人あたり労働時間指数、第

3 項は労働投入指数である。

$$\text{左辺} = \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_0 h_0 l_0}$$

$$\text{右辺} = \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_0 h_1 l_1} \cdot \frac{\sum w_0 h_1 l_1}{\sum w_0 h_0 l_1} \cdot \frac{\sum w_0 h_0 l_1}{\sum w_0 h_0 l_0} \dots\dots \textcircled{1}$$

$$= \frac{\sum w_1 h_0 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_0}{\sum w_1 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_1 h_1 l_0} \dots\dots \textcircled{2}$$

$$= \frac{\sum w_1 h_0 l_1}{\sum w_0 h_0 l_1} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_1 h_0 l_1} \cdot \frac{\sum w_0 h_0 l_1}{\sum w_0 h_0 l_0} \dots\dots \textcircled{3}$$

$$= \frac{\sum w_1 h_1 l_0}{\sum w_0 h_1 l_0} \cdot \frac{\sum w_0 h_1 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_1 h_1 l_0} \dots\dots \textcircled{4}$$

$$= \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_0 h_1 l_1} \cdot \frac{\sum w_0 h_1 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_0 h_0 l_1}{\sum w_0 h_1 l_0} \dots\dots \textcircled{5}$$

$$= \frac{\sum w_1 h_0 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_1 h_0 l_1} \cdot \frac{\sum w_1 h_0 l_1}{\sum w_1 h_1 l_0} \dots\dots \textcircled{6}$$

これらの式で、例えば、時間当たり賃金指数（右辺第 1 項）をみると、①式と⑤式に出てくるものは同じであり、②式と⑥式に出てくるものは同じであり、残りの③式と④式に出てくるものは異なる式であるから、全部で 4 種類の式が考えられていることになる。¹

このうち、最もわかりやすい式、②式に出てくるものを取り上げて考えて見よう。時間的比較をする場合で、時点を 0、1、2、3 と 4 時点を考えてみる。0 時点と 1 時点の比較の場合、

$\frac{\sum w_1 h_0 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0}$ という式を計算すれば良い。つぎに、0 時点と 2 時点を比較する場合、

¹ 市野省三氏 [1] は、フィッシャー式を推奨しているが、p.168 の (A) 式は、②式の

第 1 項と第 2 項の積をとり、 $\frac{\sum w_1 h_1 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_1 h_1 l_0}$ と同じ式であり、(B) 式は、①式の第

1 項と第 2 項の積をとり、 $\frac{\sum w_1 h_1 l_1}{\sum w_0 h_0 l_1} \cdot \frac{\sum w_0 h_0 l_1}{\sum w_0 h_0 l_0}$ と変形したものである。

$\frac{\sum w_1 h_0 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_2 h_1 l_1}{\sum w_1 h_1 l_1}$ という式で計算する。つぎに、0 時点と 3 時点と比較する場合は、

$\frac{\sum w_1 h_0 l_0}{\sum w_0 h_0 l_0} \cdot \frac{\sum w_2 h_1 l_1}{\sum w_1 h_1 l_1} \cdot \frac{\sum w_3 h_2 l_2}{\sum w_2 h_2 l_2}$ という式で計算する。4 時点以上に離れた時点の比較を行な

う場合は、同様に考えて見ればわかる。連鎖基準の指数を採用していることになる。

2. 場所的比較と属性的比較のための指数算式について

経済指数で、最もよく用いられているのは、上記の時間的比較であるが、その他にも経済指数は、場所的比較（都道府県間比較）、属性的比較（産業間比較、企業規模間比較、男女間比較、雇用形態間比較）などにも用いられる。ここでは、産業間比較を例として、算式を考えよう。

記号を、 a ：産業計、 i ：比較産業、 w ：時間当たり賃金、 h ：一人当たり労働時間、 l ：就業者数とする。

産業計 a を基準にして、産業 i を比較する。特定の産業を比較の基準にするのは、良くないので、産業計を分母に持ってくる。時間当たり賃金指数は②式第 1 項を利用する。

$$\frac{\sum w_i h_a l_a}{\sum w_a h_a l_a} \dots\dots\dots ⑦ \text{ (②式第 1 項または⑥式第 1 項から導出)}$$

同様に考えて、労働時間指数は、④式第 2 項を利用する。

$$\frac{\sum w_a h_i l_a}{\sum w_a h_a l_a} \dots\dots\dots ⑧ \text{ (④式第 2 項または⑤式第 2 項から導出)}$$

また、労働投入指数は、①式第 3 項を利用する。これは、各産業の労働投入の全体に対する割合を示すものと考えられるから、個々の産業の値を合計すると 1 になると考えられる。

$$\frac{\sum w_a h_a l_i}{\sum w_a h_a l_a} \dots\dots\dots ⑨ \text{ (①式第 3 項または③式第 3 項から導出)}$$

ついでに言及すれば、上記の左辺の式も合計すると 1 になると考えられる。

$$\frac{\sum w_i h_i l_i}{\sum w_a h_a l_a} \dots\dots\dots ⑩ \text{ (左辺から導出)}$$

⑨、と⑩の式は、各産業のウェイトを違った面から求めたものと考えられよう。前者は、どちらかと言えば、労働者数を主とした指標であるのに対し、後者は、賃金支払総額の産業

ウェイトと言うべきであろうか。

さらに、発表されている統計表の数字と比較するには、時間当たり賃金指数ではなく、一人当たり賃金指数を作っておく必要がある。これは、②式第 1 項と②式第 2 項をかけ算して次式を求めれば良い（④式第 1 項と④式第 2 項からも導出は可能）。

$$\frac{\sum w_i h_a l_a}{\sum w_a h_a l_a} \cdot \frac{\sum w_i h_i l_a}{\sum w_i h_a l_a} = \frac{\sum w_i h_i l_a}{\sum w_a h_a l_a} \dots\dots ⑪$$

ここで、いろいろな比較に於いて、分母に持ってくるものは、何を比較するかによって異なるが、図表 1. に纏めておこう。

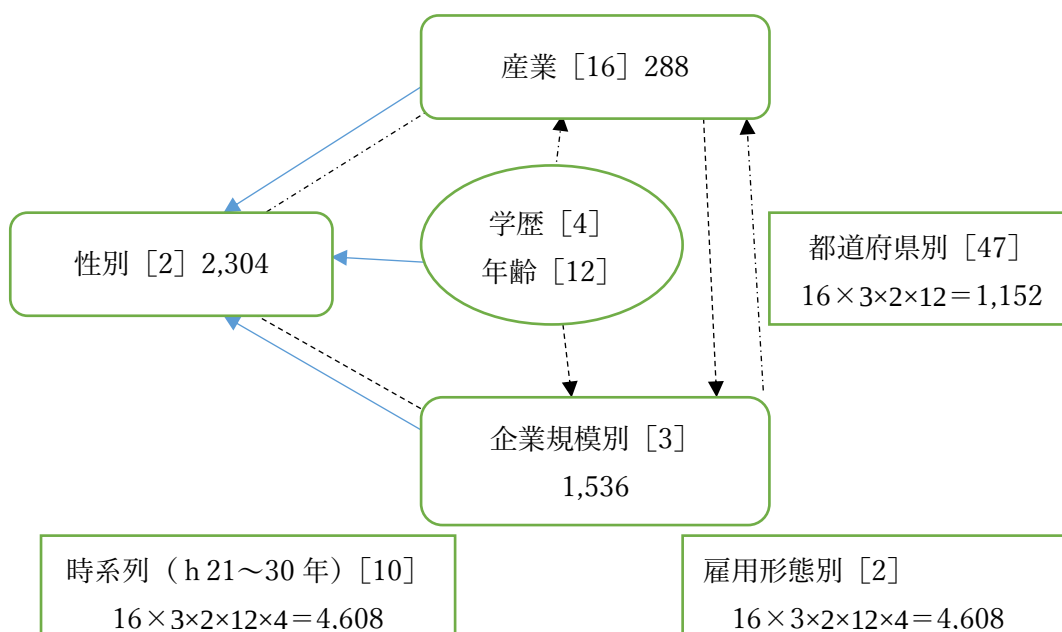
図表 1. このノートで検討したいろいろな比較

比較の内容	分母に持ってくるもの
時系列比較（連鎖指数を採用）	前年の値
都道府県間比較	全国計
産業間比較	産業計
企業規模間比較	大企業の値
性別比較	男女計
雇用形態間比較	正社員・正職員計

3. 実際の指数計算の方法

政府統計の総合窓口で、賃金構造基本統計調査を選び、一般労働者-産業大分類-表番号 1、一般労働者-都道府県別-表番号 1 及び一般労働者-雇用形態別-表番号 1 を参照する。

図表 2. 指数計算の区分数（h 21～30 年についてのみ）〔 〕内、組み分けの数。すぐ後の数値は計算の区分数を示す。



これらの表中、所定内実労働時間（時間）、所定内給与額（千円）、労働者数（十人）の数字を使う。 所定内労働時間 = h 、所定内給与額 = wh 、労働者数 = l

時間当たり賃金は、 $wh/h = w$ で計算する。また、 l は 10 人単位であるから、0 となっている場合は、 $(1+2+3+4)/4=2.5$ と見なす。計算は、例えば、時系列の場合、図表 2. のように、4,608 個のデータ区分について合計される。連関指数は、 h 21~30 年の場合、9 組計算され (h 21-22、 $\cdots$ h 29-30)、連鎖指数が累積計算される。[] 中の数字は年次数。実際には、時系列： h 11-15、 h 16-20、 h 21- h 30 都道府県別、産業別、性別、雇用形態別： h 21、 h 25、 h 30 企業規模別： h 21-30 の年次について計算された。

4. 時間的比較

産業分類の改訂が行われたこともあり、平成 11~15 年、平成 16~20 年、平成 21~30 年の 3 つの期間について、連鎖指数を作成した（図表 3. 参照）が、時間当たり賃金指数をみると（付図 4-1）、どの期間もあまり変化がなかったように見える。また、労働時間指数についても、同様に、あまり大きな変化は見られない。他方、労働投入指数は、平成 13 年と平成 19 年にかなり減少し、平成 24 年に相当増加している。正しい動きと考えるのはむしろかしい。² 付図 1 の賃金構造基本調査や毎月勤労統計調査のデータで見ても、日本経済について「失われた 20 年」と言われているように、ほとんど賃金の上昇は見られない。ただ、平成 26 年（2014 年）頃から、緩やかに一人当たり賃金の上昇が見られるが、付図 4-2 にみるように、一人当たり賃金指数は、⑩式で計算すると、横ばいもしくは低下傾向を示すと見た方が良いと思われる。

5. 都道府県間比較

最初に、時間当たり賃金指数を横軸にとり、労働時間指数を縦軸にとって X Y グラフを作る。ここに付図 5-1 が作成される。これにより、都道府県の特徴を捉えることができる。

² 厚生労働省から公表されている「賃金構造基本統計調査の数値の妥当性について」のデータから、調査の回収率の推移をみると、平成 12 年の回収率が 75.0%、平成 13 年の回収率が 72.4%、平成 18 年のそれが 70.0%、平成 19 年のそれが 66.8%、平成 23 年が 70.8%、平成 24 年が 73.2%となっているのが関係しているように見える。「賃金構造基本統計調査の改善に関するワーキンググループ～報告書」（令和元年 6 月）によると、回収率を考慮した復元方法を採用して、順次データを公表する方向にあるとされている。このデータが発表されるようになると、労働投入指数が実勢を表せるようになるかも知れない。

X/Yを計算し、この値の大きさを都道府県の順番を付けることもできる。
算式で考えると、X/Yは次式のように変形できる。

図表 3.産業分類の改定

	10回改訂	11回改訂	12回改訂
	h11-h15(1999-2003)	h16-h20(2004-2008)	h21--(2009-)
産業分類			
年齢階級	h 11- h 19 ～17 18～19 65～	12区分	h 20- ～19 70～
公営の扱い	電気ガス、運輸通信のみ 民+公営計	公営含めず	
分類	産業分類9×性別2×企業規模3×学歴4	産業分類14×性別2×企業規模3×学歴4	産業分類16×性別2×企業規模3×学歴4

$$\frac{\sum w_i h_i l_a}{\sum w_a h_a l_a} \div \frac{\sum w_a h_i l_a}{\sum w_a h_a l_a} = \frac{\sum w_i h_i l_a}{\sum w_a h_i l_a} = \frac{\sum \left(\frac{w_i}{w_a} \right) w_a h_i l_a}{\sum \left(\frac{h_i}{h_a} \right) w_a h_a l_a} \dots \textcircled{12}$$

全国に対する時間当たり賃金格差を、全国に対する労働時間格差で割ったものであり、次の図表 4.を見れば、意図していることが少し理解できるであろう。数値例のAとCを比較すると、両者の時間当たり賃金指数は同じ 1.1 であるが、労働時間指数はAの方が 1 割方少ない。Aの方が少ない時間で、同じ賃金を得ている。比較結果は 1.1 となっている。次の例として、BとDを比較する。これも時間当たり賃金指数は同じであり、労働時間指数がBの方が 1 割方多くなっている。Bの方が多い時間をかけて同じ賃金を得ている。比較結果は、0.91 となっている。

つぎに、付表 5-1 には、賃金構造基本統計調査の一人当たり所定内給与額の順位と⑪式で求めた一人当たり賃金指数の順位のクロス表を作成してある。これを見ると、殆どの都道府県は対角線上にならんでいる。兵庫、広島、奈良、茨城、岡山、富山、宮城、香川、新潟、山梨、島根、鳥取は対角線上に來ないが、対角線から一つ離れているだけである。これは、両者の間で順位があまり変化しないということを示している。

図表 4.数値例

	C	D	E	F	G	H
3	都道府県	X：時間 当たり賃 金指数	Y：労働 時間指数	X/Y	比較	右欄の注
4	A	1.10	0.91	1.21	1.10	Cと比較' = F 4 / F 6
5	B	0.91	1.10	0.83	0.91	Dと比較' = F 5 / F 7
6	C	1.10	1.00	1.10	1.21	Dと比較' = F 6 / F 7
7	D	0.91	1.00	0.91	1.10	Bと比較' = F 7 / F 5

6. 産業別比較

最初に付図 6-1 のように、横軸に時間当たり賃金格差、縦軸に労働時間格差をとって、XY-グラフを描く。産業全体の平均と比較して、賃金格差が高い値で、労働時間格差が低い値を示すのは、金融・情報・電気・鉱業・学術であり、賃金格差がやや高く、労働時間格差がやや高いのは、医療・不動産であり、賃金格差がやや低く、労働時間格差もやや低いのは複合であり、賃金格差が低く、労働時間格差が高いのは、卸小・生活・運輸・サービス・宿泊である。

次に付図 6-2 のように、この基本統計から得られる一人当たり賃金の実際の格差と、指数計算から得られた値を比較する。産業間の格差のバラツキが前者はおおきく、後者は小さくなっているのが特徴である。³

7. 企業規模比較

³ 橘木俊詔氏・太田聡一氏 [3] は、1978・1988 年の産業大分類と中分類について賃金関数を推定している（賃金構造基本統計調査）。時間当たり所定内給与の対数値を被説明変数、産業ダミー、常用・臨時労働者ダミー、生産・事務労働者ダミー、企業規模ダミー、教育水準ダミー、事業所規模ダミー、性別ダミー、地域ダミー、所定内労働時間、所定外労働時間、年齢および勤続年数を説明変数とした。つぎに、この推定結果を用いて産業間の純粋な賃金格差（純粋な産業レント格差）を推定した。また、対数賃金の標準偏差を指標として、労働時間などの賃金格差への貢献度の大きさを評価している。見かけ上の賃金格差の半分以上が労働時間、教育水準、勤続年数、性別等で説明されるが、残った賃金格差が多く産業特性と相関を持つことが見いだされ、特に支払い能力を示す指標との関連が強いことが分かった。

大企業を 100 として、中企業・小企業の格差指数を計算する。付図 7-2 の結果をみると、基本調査の実際の格差付図 7-1 よりも一人当たり賃金格差は一般に小さくなっていることが分かる。この一人当たり賃金格差は、付図 7-3 の時間当たり賃金格差より小さくなる。これは、付図 7-4 に見るように、小規模ほど労働時間が多くなっているためであろう。小規模企業は、大企業よりも低い時間当たり賃金を少しでも回復するために、労働時間を多くすることに対応しているようである。⁴

8. 性別比較

男女計を基準にして、男子・女子別に格差指数を作成する。したがって、男性に対する女性の比を計算すると、数式の上では次のようになる。

$$\text{時間当たり賃金格差} \quad \frac{\sum w_f h_a l_a}{\sum w_m h_a l_a} \dots\dots \textcircled{13}$$

$$\text{労働時間格差} \quad \frac{\sum w_a h_f l_a}{\sum w_a h_m l_a} \dots\dots \textcircled{14}$$

$$\text{一人当たり賃金格差} \quad \frac{\sum w_f h_f l_a}{\sum w_m h_m l_a} \dots\dots \textcircled{15}$$

付図 8-1 をみると、時間当たり賃金格差（男女指数比） $\textcircled{13}$ の値よりも、労働時間格差（男女指数比） $\textcircled{14}$ が 1 以下であるから、一人当たり賃金格差（男女指数比） $\textcircled{15}$ がより格差が広がる。時系列的には格差が縮まる方向にはあるが、10 年で 2.2 ポイント程度であり、格差の

⁴ 深尾京司氏・牧野達治氏他〔4〕は、1975~2010 年の法人企業統計調査を用いて、賃金の企業規模間格差を労働分配率格差と労働生産性格差に分解し、労働生産性格差を労働の質格差、資本労働比率格差および TFP（全要素生産性）格差に分解している。この 35 年間でかなり変動はあるが、賃金格差は産業計で、中小企業（従業員規模 100 人未満）を 1 とした時、大企業（1000 人以上）の賃金は 1.7~1.8 倍であった。この賃金格差を説明するものとして、労働分配率格差は、0.7~0.8 倍であった。また、労働生産性格差は、2.0~2.6 倍であった。これは、賃金格差より労働生産性格差の方が大きくなり、それを労働分配率格差が相殺して賃金格差を低めていることを表している。つぎに、この労働生産性格差の要因として、資本労働比率格差、TFP 格差、労働の質格差を考え、それぞれ、65、25、10%の平均的寄与度を確認した。さらに、労働の質格差の時系列的要因分解を行い、学歴、性（男性）はプラスの寄与、雇用形態（一般）はプラスからマイナスの寄与、年齢はマイナスの寄与であった。

縮小は遅々としている（付表 8-1- c と付表 8-1- a の産業計（最後の端）の差）。⁵

付図 8-2 をみると、産業別に男女間格差が小さいのは、教育・医療・情報であり、格差が大きいのは、鉱業・建設・金融保険・不動産等であることがわかる。

9. 雇用形態間比較

図表 5.に見るように、雇用形態の違いは、一般労働者にも、短時間労働者にもあるが

ここでは、「一般労働者の正社員・正職員」に対する、「一般労働者の正社員・正職員以外」の格差を分析する。付図 9-1 をみると、鉱業と電気は他の産業に比較して、労働時間格差が大きい。鉱業・電気以外の産業では、雇用形態間の労働時間格差はほとんどみられない。賃金格差は、産業によりかなりの差がある。学術・情報・建設は格差が比較的少ない方であり、電気・複合サービス・鉱業は格差が比較的大きい方である。

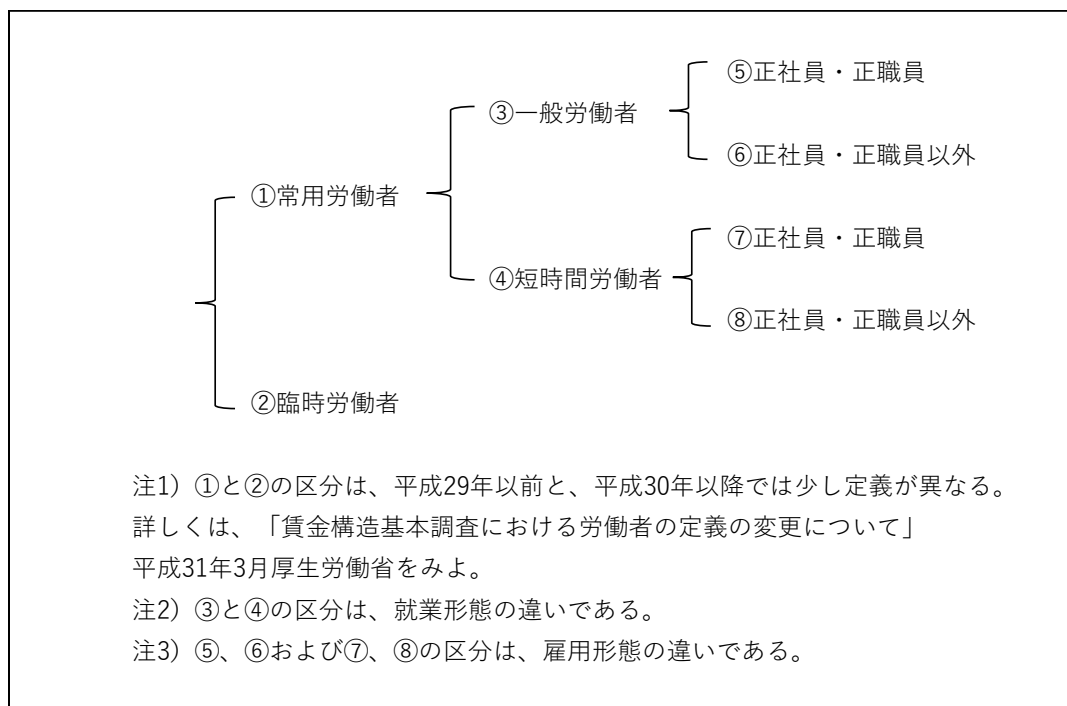
付図 9-2 をみると、一人当たり賃金格差の産業別の値が、賃金構造基本統計調査のものとデータから得られた値と、⑪式で計算した値が比較できるが、鉱業・電気および建設（平成 30 年のみ）以外の産業では、⑪式の数値の格差が縮小していることが観察される。それでも、平成 25 年、30 年の格差は、0.8 を超えるまでにはなっていない（平成 21 年では、金

⁵ 労働省編[5]は、「第Ⅱ部女子労働者、若年労働者の現状と課題第 2 節女子労働者の雇用機会と労働条件 2」男女間賃金格差の規定要因とその変化（学歴、勤続年数等に規定される賃金格差）」において、第Ⅱ-23 図 男女間賃金格差と労働者構成の調整（クロス）という図を掲げ、女子の年齢、学歴、企業規模、勤続年数、職階別の労働者構成を順次男子にそろえたときの賃金格差を、各調整過程ごとに示した。平成元年の所定内給与の数字をあげると、調整前 60.2、年齢調整後 62.8、学歴調整後 69.2（69.0）、規模調整後 71.3、勤続調整後 75.9、職階調整後 78.3 となっている。筆者が計算したところ（最後の職階については計算出来なかった）、学歴調整後の数字が 0.2 だけ少なかった。

中田喜文氏[6]は、男女別に賃金関数を計測する。月間所定内給与額、年齢、勤続、労働組合の有無、役職、規模、労働時間、産業、学歴、所在地等の属性に差があるためか、それら要素の市場価格に男女差があるためかを調べる。データは 100 人以上の企業で働く一般常用労働者で、平成 4 年度賃金労働時間制度等総合実態調査、平成 5 年賃金構造基本統計調査を用いる。男女賃金格差の 64.2%が要素量差、残りの 35.8%が要素価格差であったが、変数（要素）別賃金格差分解表（表 6）をみると、年齢に基づく賃金格差が全体として見た男女賃金格差の倍近くの大きさであることが分かる。それに、年齢要素価格の影響がほとんどである。著者はいくつかの更なる検討を加えた後、男女役割分業観を社会文化的前提とする、労働市場分断仮説が、今日の日本における男女賃金差別の説明としてより適切であると考えて居る。

杉橋やよい氏[7]は、ブリンダー・ワハカ分解手法の意義と限界について述べているが、特に、2 頁に及ぶ図解はわかりやすい。

融が 0.97、建設が 0.83、学術が 0.82 となっているのは例外である)。⁶



図表 5.賃金構造基本調査における労働者の分類

10. おわりに

このノートの目的は、時間当たり賃金指数の計算式を示し、それを実際に計算することであった。労働経済学の研究は、いろいろな格差がなぜ生じているかを如何にうまく説明できるかである。ここでの分析は、労働経済学の中心問題には触れず、形式的な統計分析にとどまっており、忸怩たるものがある。筆者の考える指数の方法では、微々たる一歩かも知れないが、格差に接近する一つの方法ではないかと考えた。多くの問題を残したままではあるが、分析を終えたい。

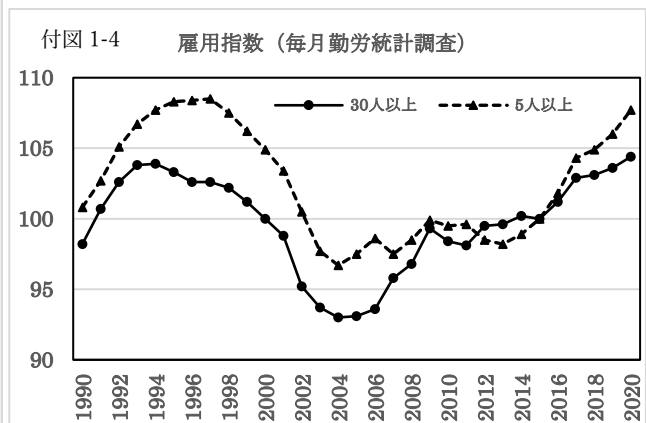
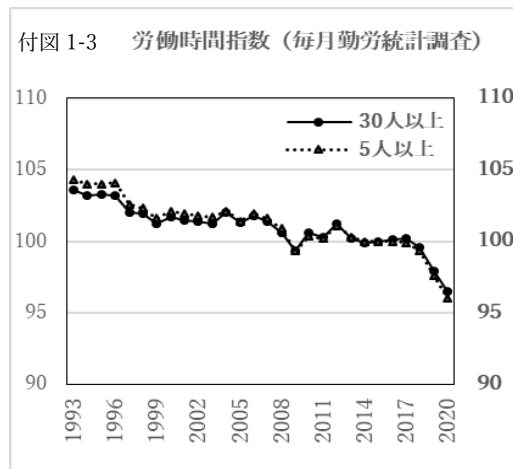
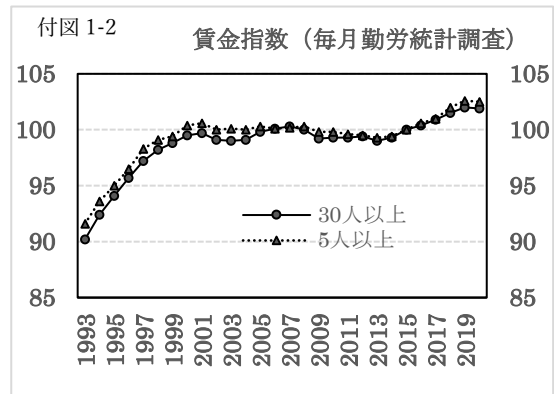
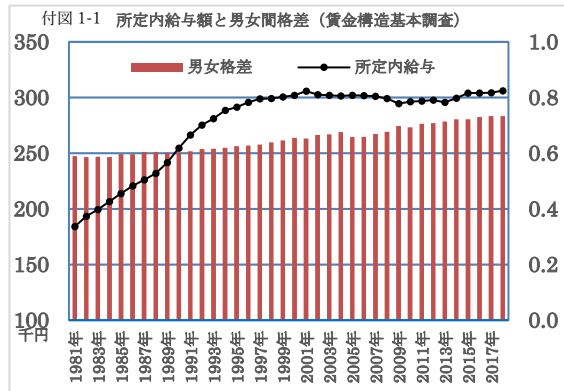
⁶ 川口大司氏 [7] は、2005～2015 年の賃金構造基本統計調査の常用労働者のデータ（59 歳以下）を用いて雇用形態間の賃金格差を分析する。調査年、最終学歴（短時間労働者の場合はなし）、潜在経験年数、勤続年数、職種・役職、事業所を考慮して、加重最少自乗法を用いた回帰分析を行なった。雇用形態は、①正社員・正職員で無期②正社員・正職員で有期③正社員・正職員以外で無期④正社員・正職員以外で有期の 4 区分をなし、3 つの雇用形態ダミー変数（短時間労働者を含む場合は参考分析とし、7 つの雇用形態ダミー変数）を利用した。被説明変数は基本的には所定内時間当たり賃金の自然対数値を採用した。分析結果は、正社員・無期との所定内時間当たり賃金差は、＜男性＞正社員・有期－7.7%、非正社員・無期－15.8%、非正社員・有期－18.4%、＜女性＞正社員・有期－8.0%、非正社員・無期－16.9%、非正社員・有期－18.8%となる。契約期間の長短よりも呼称差による賃金差が大きいことが分かる。

参考文献等

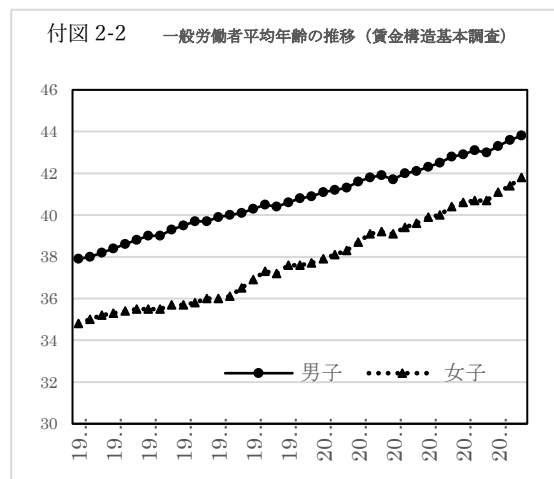
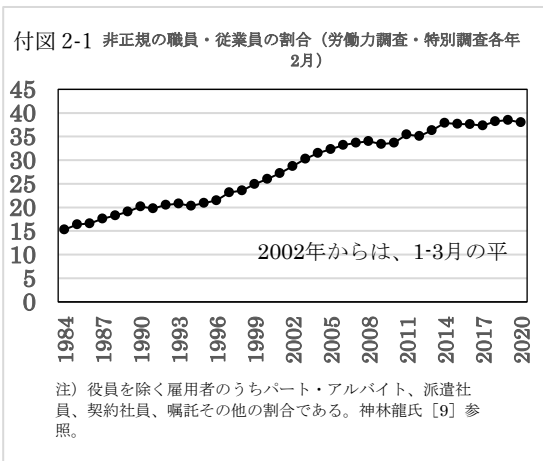
- [1] 市野省三「賃金率の動向と産業間・企業規模間賃金格差」四日市大学論集第 11 巻第 1 号 1998 年。
- [2] 市野省三「地域間賃金率格差とその要因」四日市大学論集第 11 巻 2 号 1999 年。
- [3] 橘木俊詔・太田聰一「第 8 章日本の産業間賃金格差」橘木俊詔編著『査定・昇進・賃金決定』有斐閣 1992 年 9 月。
- [4] 深尾京司・牧野達治・池内健太・権赫旭・金榮慇「生産性と賃金の規模別格差」日本労働研究雑誌 56 (8) 2014 年 8 月。
- [5] 労働省編『労働白書平成 3 年版』日本労働研究機構発行、平成 37 年。
- [6] 中田喜文「第 6 章 日本における男女賃金格差の要因分析」中馬宏之・駿河輝和編『雇用慣行の変化と女性労働』東京大学出版会 1997 年 6 月。
- [7] 杉橋やよい「男女間賃金格差の要因分解手法の意義と内在的限界」経済志林第 76 巻 4 号、2009 年 3 月。
- [8] 川口大司「雇用形態間賃金差の実証分析」日本労働研究雑誌 60 (12) 2018 年 12 月。
- [9] 神林龍「非正規労働者」日本労働研究雑誌 55 (4), No.633, 2013 年 4 月。
- [10] 中村建策・古田裕繁『賃金センサス・毎勤統計 活用の手引』財団法人労働法令協会、平成 16 年 7 月。
- [11] 古田裕繁『わかりやすい労働統計の見方・使い方』（賃金事情別冊）産労総合研究所（編）発行、2010 年 10 月。

【付記】この研究ノートは、香川県政策部統計調査課で 2020 年 10 月 27 日に報告させていただいた内容を元に作成されたものである。その際、いろいろ質問していただいた方々に感謝するとともに、特にお世話になった佐藤悠奈氏に深く感謝したい。

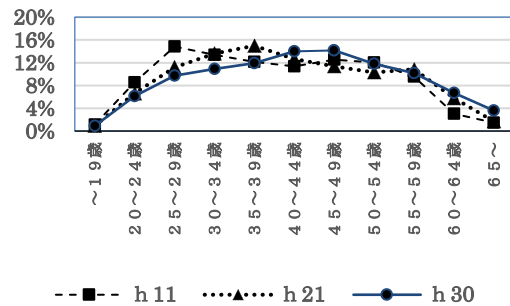
<全般的動向>



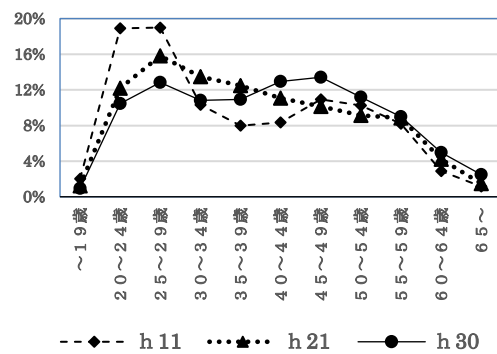
<労働力構成の変化>



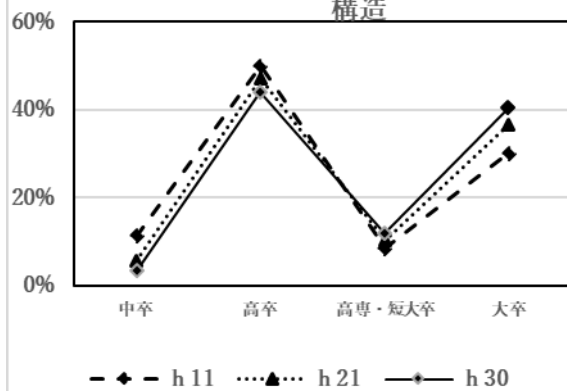
付図 2-3-a 一般労働者年齢構成の変化（男子）賃金構造



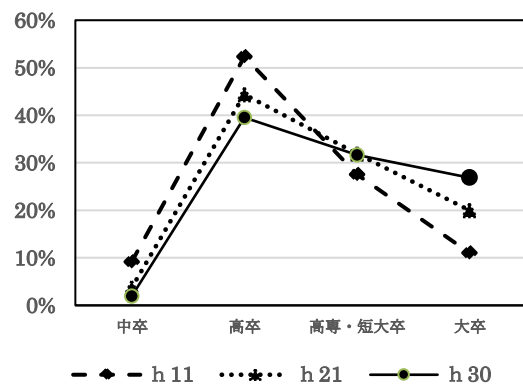
付図 2-3-b 一般労働者年齢構成の変化（女子）賃金構造



付図 2-4-a 一般労働者学歴別割合（男子）賃金構造



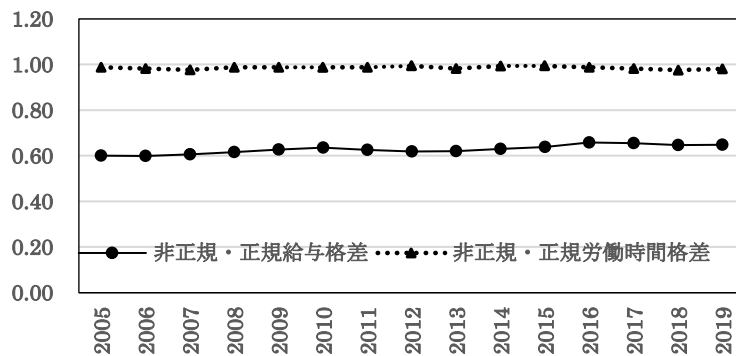
付図 2-4-b 一般労働者学歴別割合（女子）賃金構造



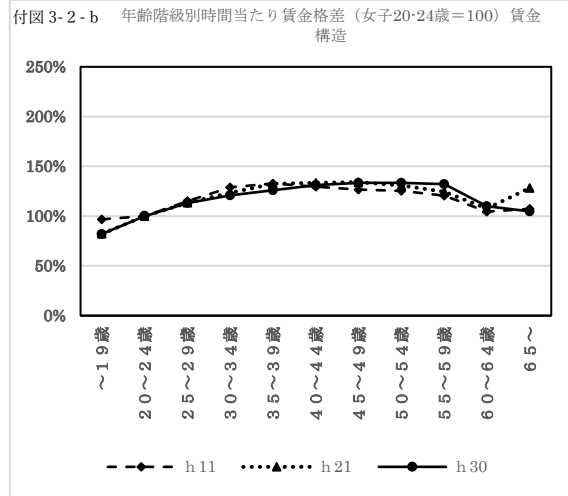
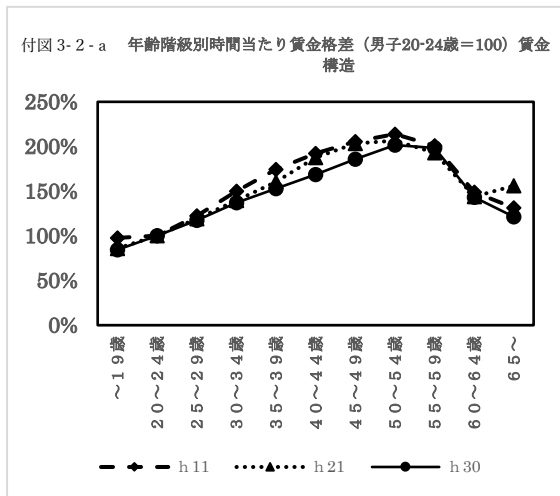
h11（1999年）、h21（2009年）、h30（2018年）

<賃金格差の動向>

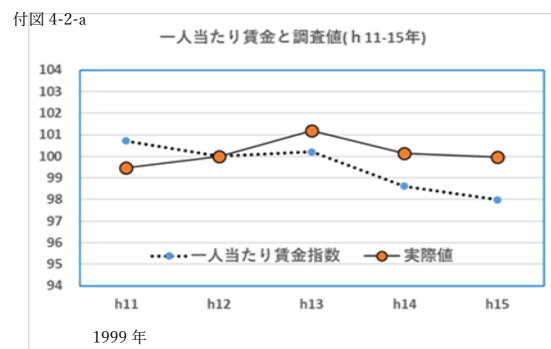
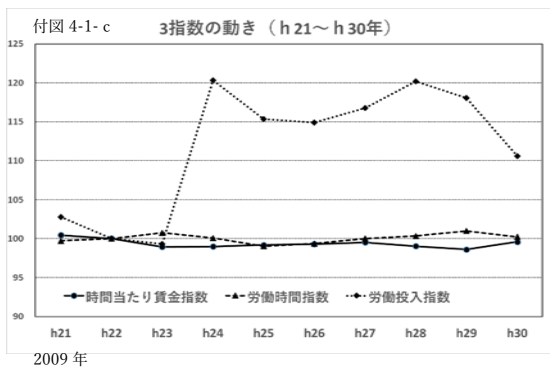
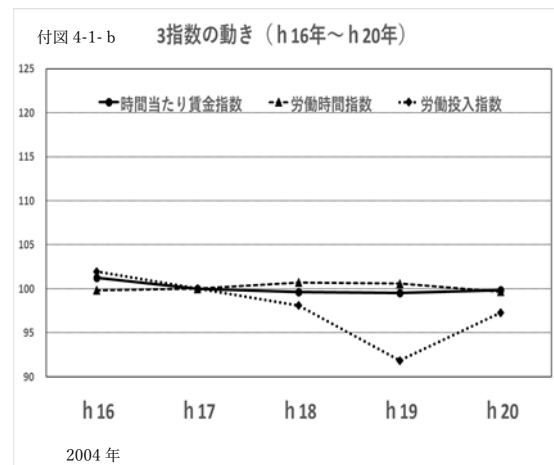
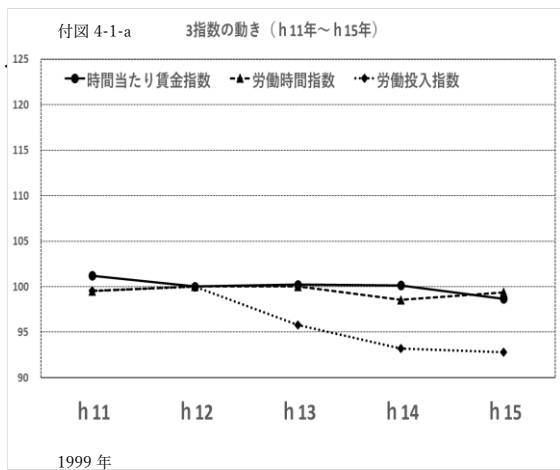
付図 3-1 非正規・正規給与格差と労働時間格差の推移

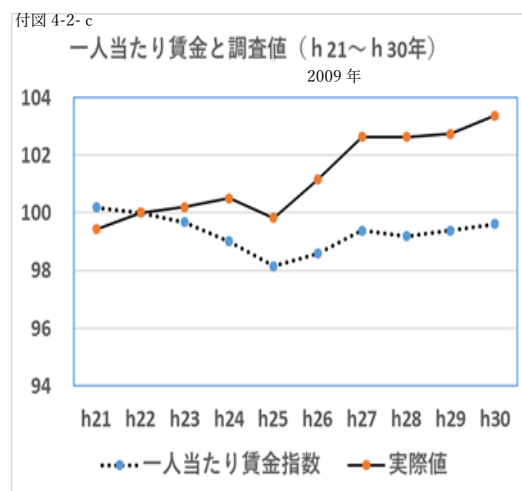
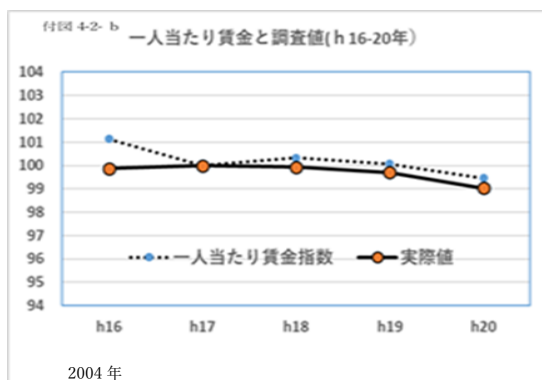


注）賃金構造基本調査の所定内給与額と所定内実労働時間。

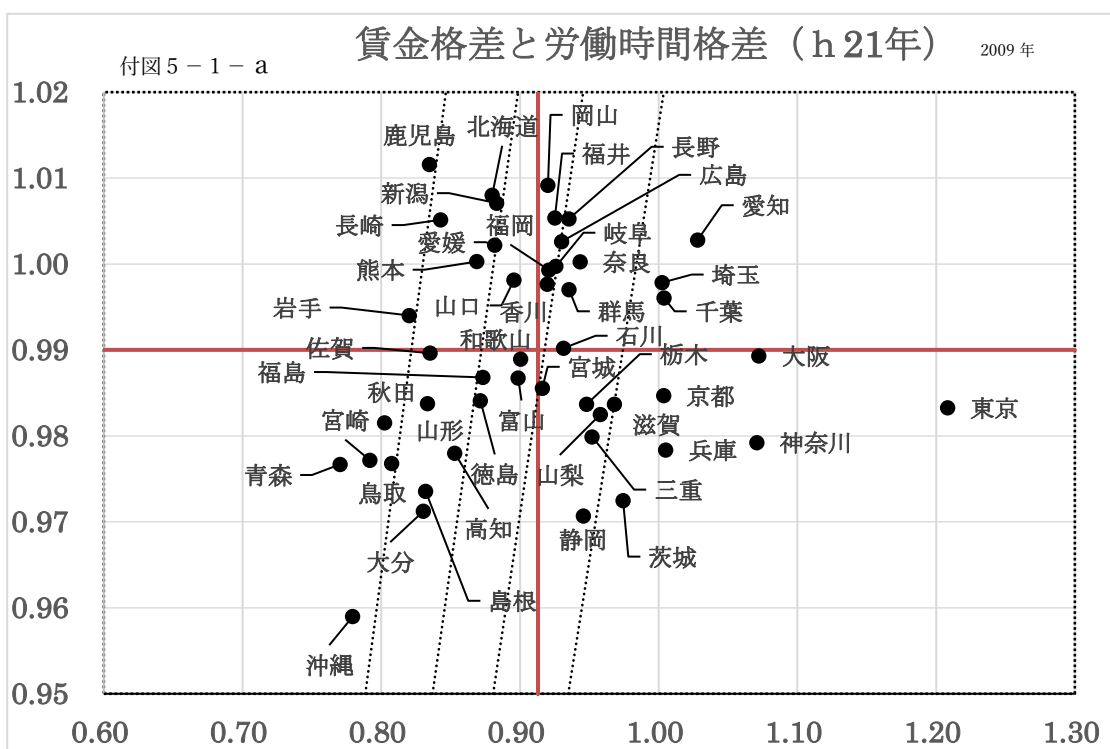


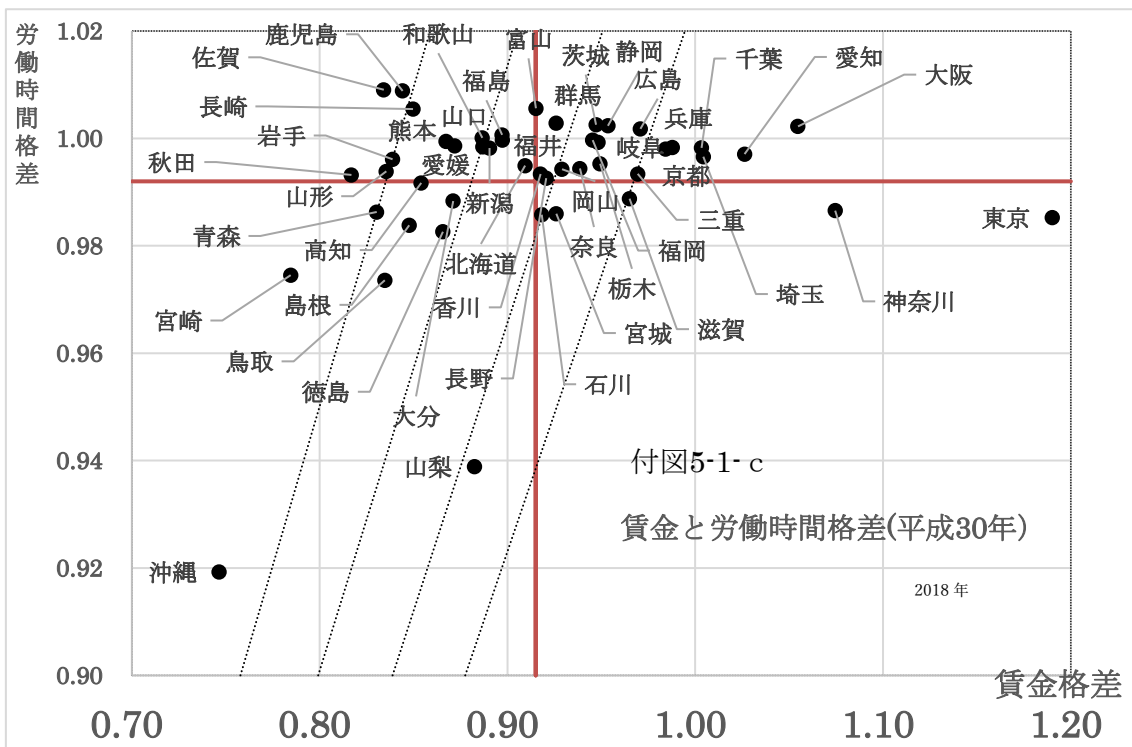
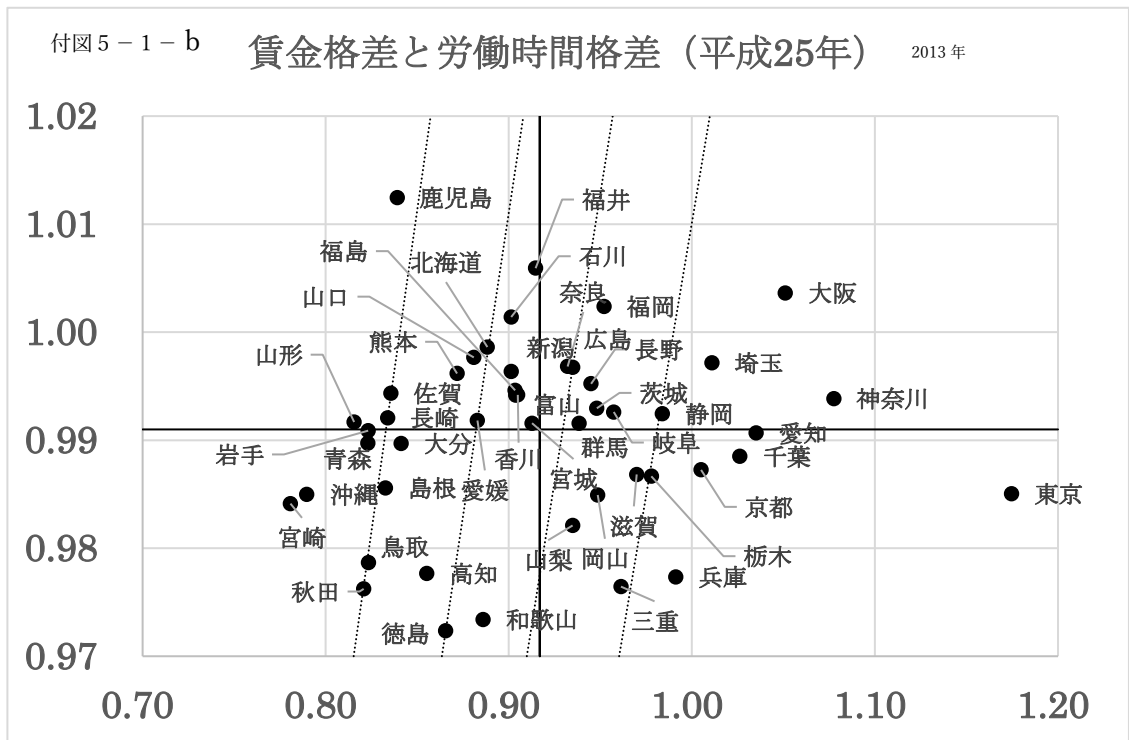
h11（1999年）、h21（2009年）、h30（2018年）
＜時系列指数＞



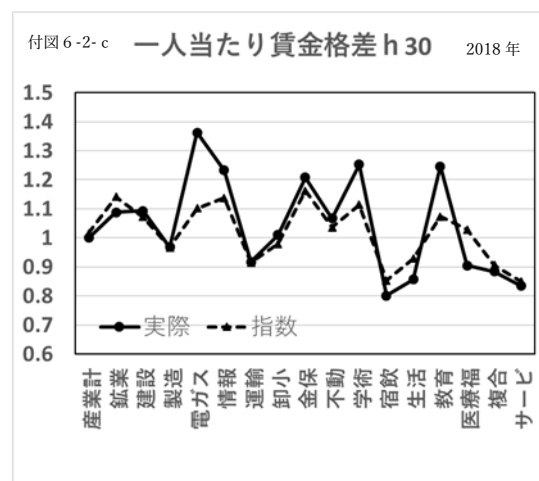
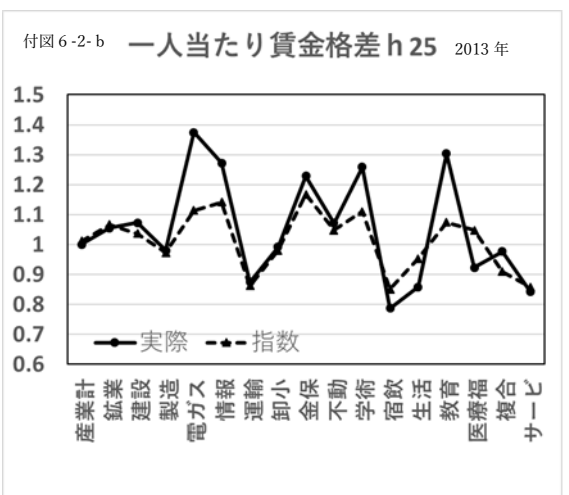
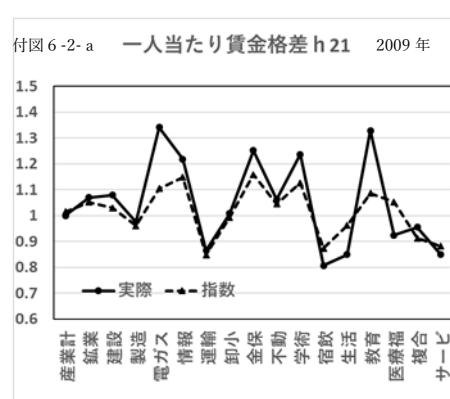
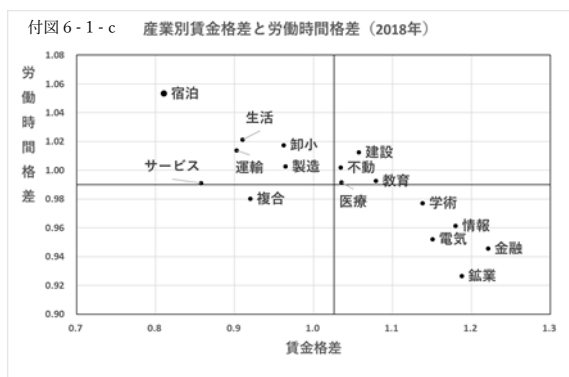
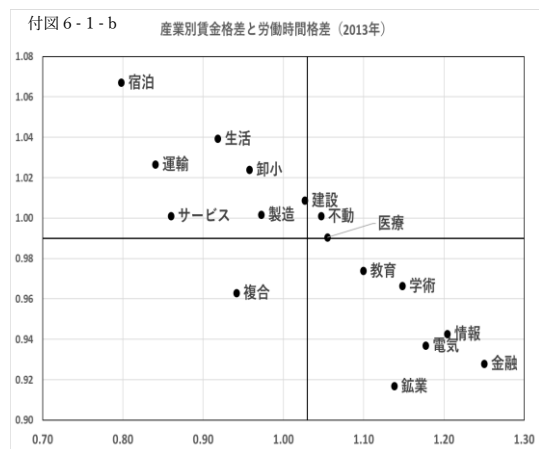
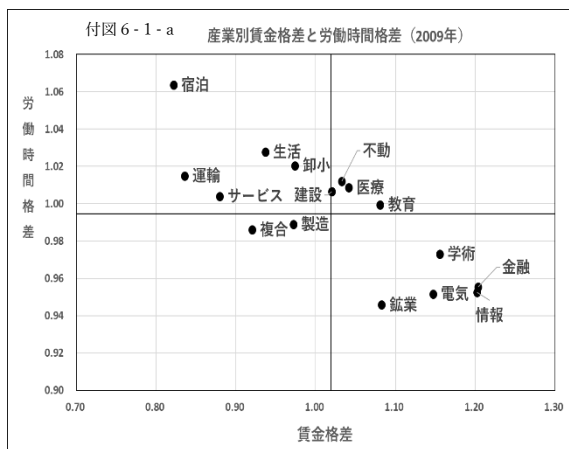


< 都道府県間比較 >

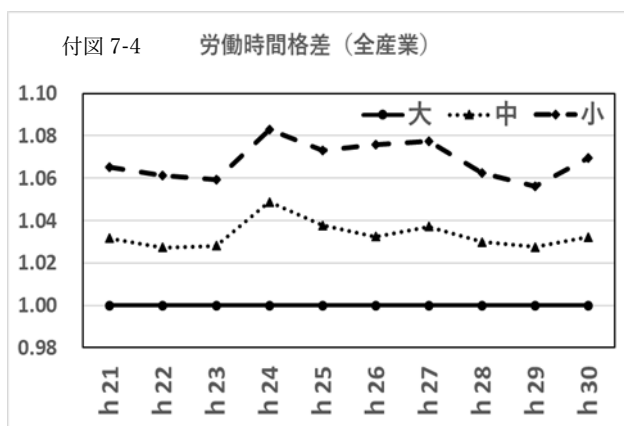
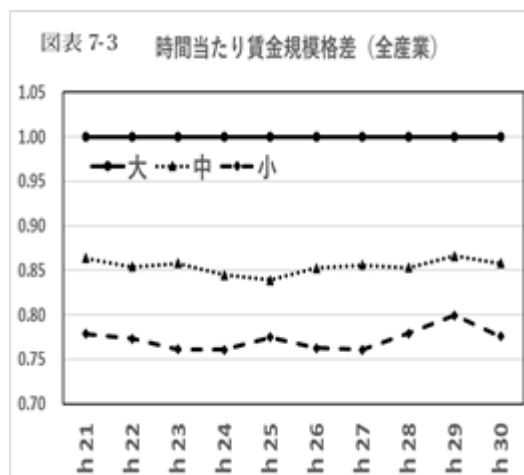
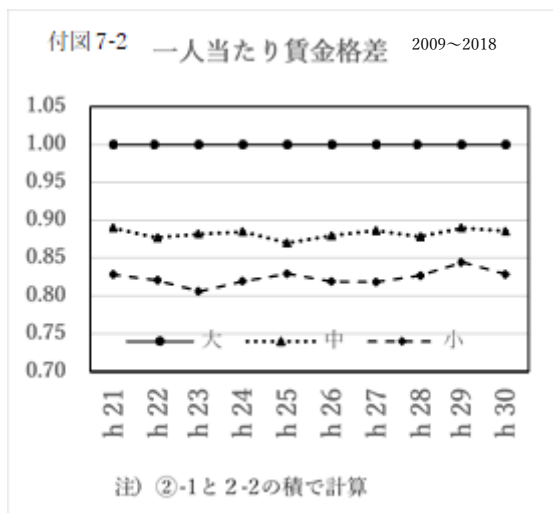
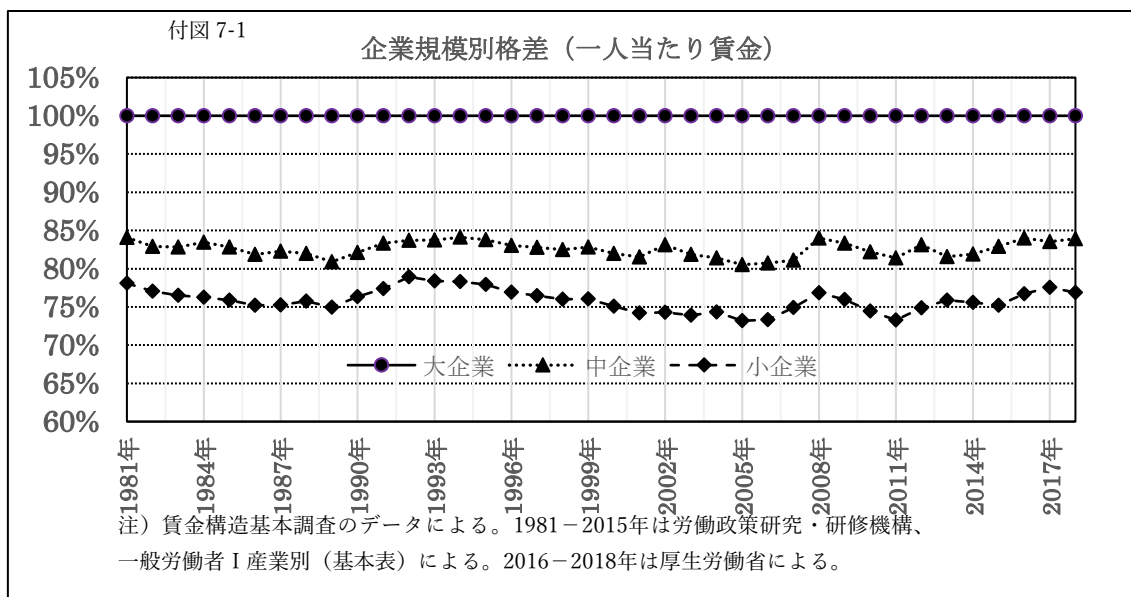




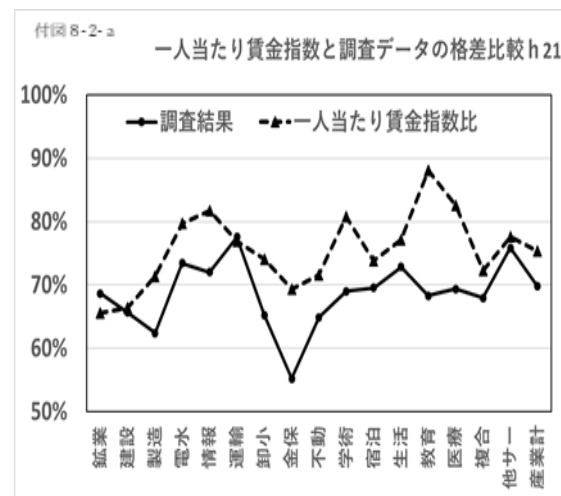
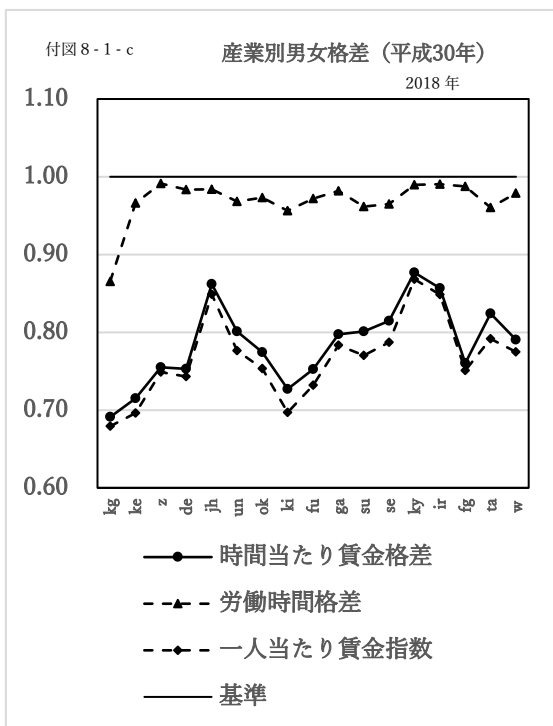
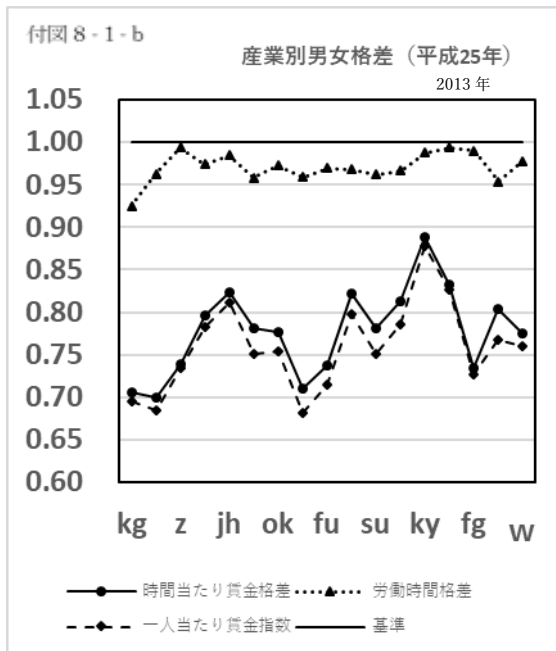
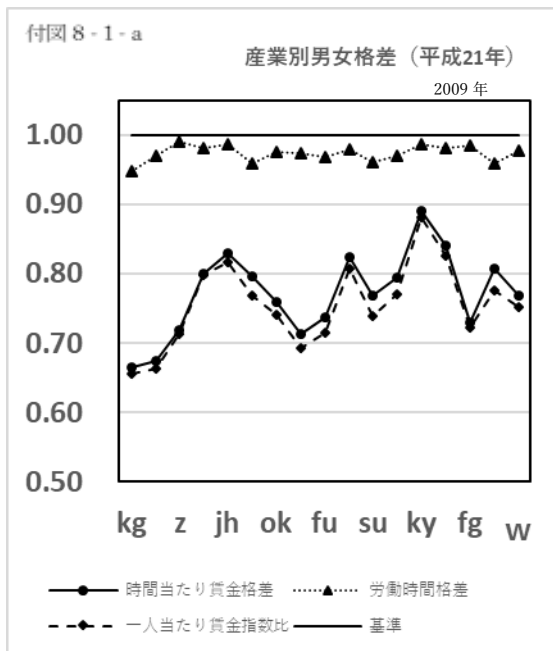
<産業別比較>



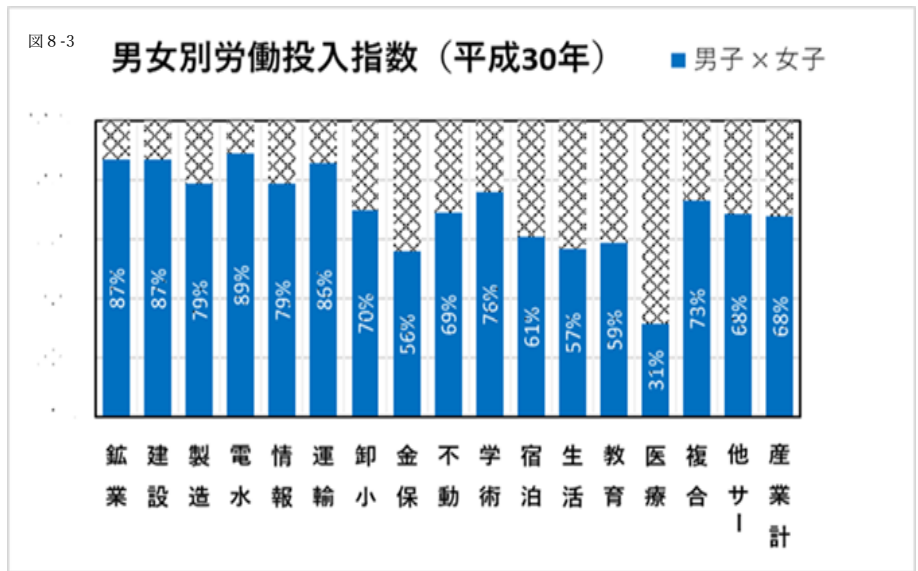
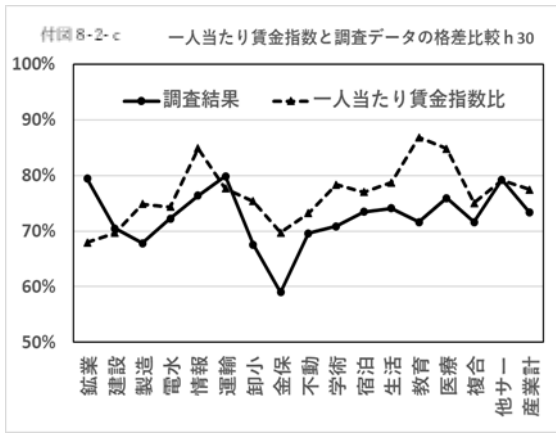
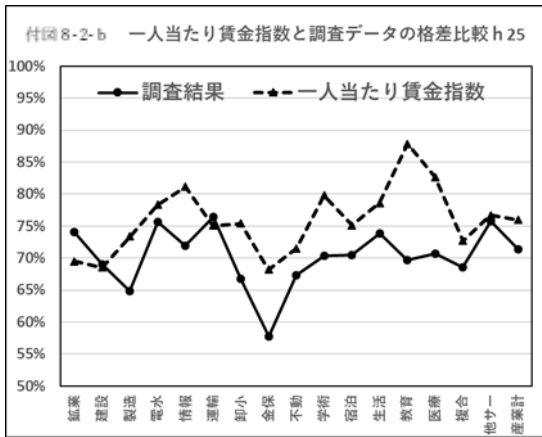
<企業規模比較>



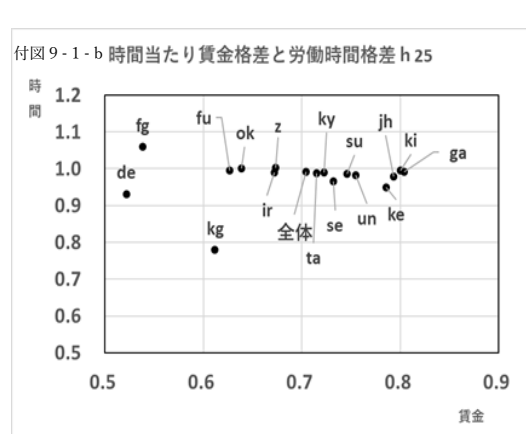
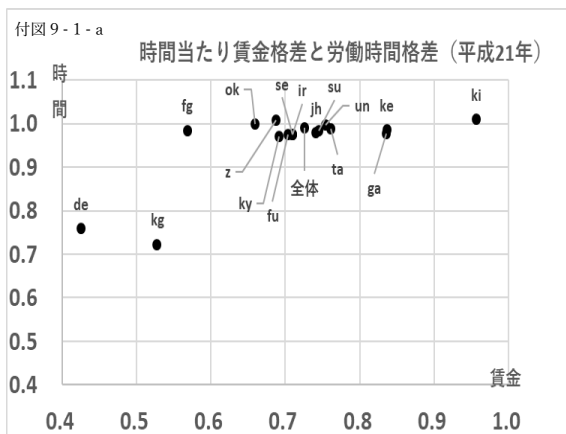
<性別比較>



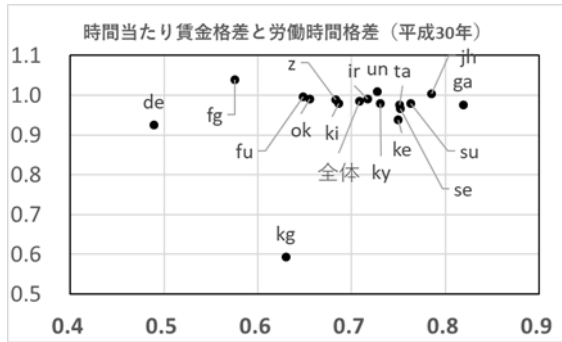
注) kg:鉱業、ke:建設、z:製造、de:電水ガ、
jh:情報、un:運輸、ok:卸小、ki:金融保険、
fu:不動、ga:学術、su:宿泊、se:生活
ky:教育 ir:医療、fg:複合、ta:他サー、
w:産業計



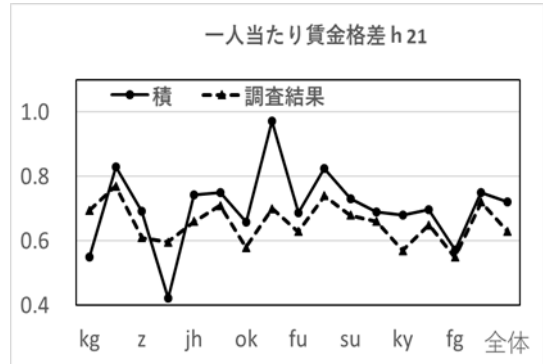
<雇用形態間比較>



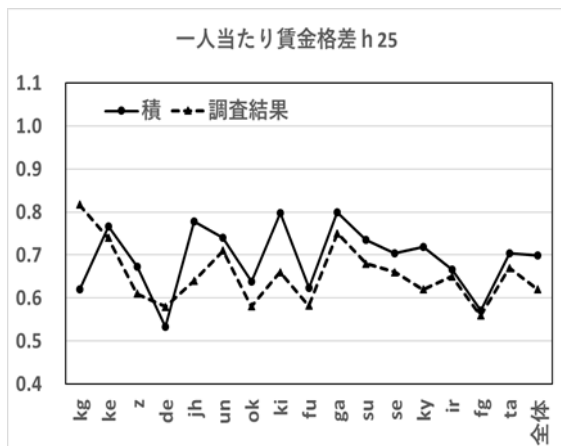
付図9-1-c



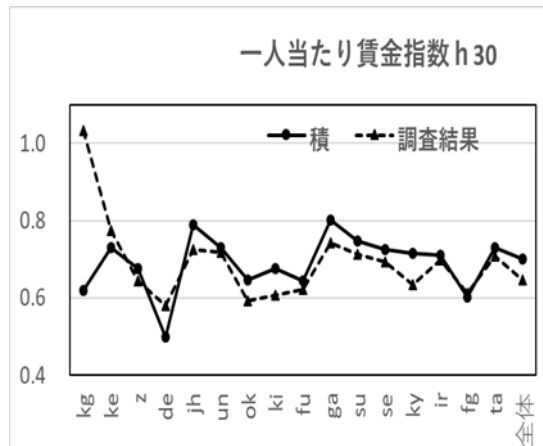
付図9-2-a



付図9-2-b



付図9-2-c



<労働力構成変化>

付表 2-1

非正規の割合

年次	非正規割合
1984	15.3
1985	16.4
1986	16.6
1987	17.6
1988	18.3
1989	19.1
1990	20.2
1991	19.8
1992	20.5
1993	20.8
1994	20.3
1995	20.9
1996	21.5
1997	23.2
1998	23.6
1999	24.9
2000	26.0
2001	27.2
2002	29.4
2003	30.4
2004	31.4
2005	32.6
2006	33.0
2007	33.5
2008	34.1
2009	33.7
2010	34.4
2011	35.1
2012	35.2
2013	36.7
2014	37.4
2015	37.5
2016	37.5
2017	37.3
2018	37.9
2019	38.3
2020	37.2

注) 労働力調査及び労働力調査

特別調査による。2001 年までは 2 月の値、
2002 年以降は年平均。

付表 2-2

一般労働者の平均年齢の推移

年次	男子	女子
1981	37.9	34.8
1982	38.0	35.0
1983	38.2	35.2
1984	38.4	35.3
1985	38.6	35.4
1986	38.8	35.5
1987	39.0	35.5
1988	39.0	35.5
1989	39.3	35.7
1990	39.5	35.7
1991	39.7	35.8
1992	39.7	36.0
1993	39.9	36.0
1994	40.0	36.1
1995	40.1	36.5
1996	40.3	36.9
1997	40.5	37.3
1998	40.4	37.2
1999	40.6	37.6
2000	40.8	37.6
2001	40.9	37.7
2002	41.1	37.9
2003	41.2	38.1
2004	41.3	38.3
2005	41.6	38.7
2006	41.8	39.1
2007	41.9	39.2
2008	41.7	39.1
2009	42.0	39.4
2010	42.1	39.6
2011	42.3	39.9
2012	42.5	40.0
2013	42.8	40.4
2014	42.9	40.6
2015	43.1	40.7
2016	43.0	40.7
2017	43.3	41.1
2018	43.6	41.4
2019	43.8	41.8

注) 賃金構造基本調査一般労働者

付表 2-3

労働者分類

労働者別数	男子					女子					合計	(再掲) 非正規
	常用				臨時	常用				臨時		
	一般		短時間			一般		短時間				
	正規	非正規	正規	非正規		正規	非正規	正規	非正規			
2005年	49.8%	4.4%	0.2%	4.9%	0.5%	18.7%	5.8%	0.3%	14.6%	0.8%	100.0%	29.7%
2006年	49.7%	4.7%	0.1%	4.5%	0.7%	18.8%	5.8%	0.3%	14.2%	1.1%	100.0%	29.2%
2007年	48.6%	4.6%	0.2%	4.7%	0.8%	19.0%	6.1%	0.3%	14.6%	1.2%	100.0%	30.0%
2008年	47.0%	4.9%	0.2%	5.2%	0.6%	18.6%	6.0%	0.4%	16.1%	1.0%	100.0%	32.2%
2009年	46.3%	4.7%	0.2%	5.6%	0.7%	19.1%	5.7%	0.5%	16.3%	1.0%	100.0%	32.3%
2010年	46.4%	4.8%	0.2%	5.7%	0.6%	18.5%	5.4%	0.4%	17.1%	1.0%	100.0%	33.0%
2011年	45.9%	4.9%	0.3%	5.8%	0.6%	19.2%	5.4%	0.5%	16.5%	0.9%	100.0%	32.6%
2012年	44.8%	6.0%	0.3%	5.9%	0.5%	18.5%	6.1%	0.5%	16.6%	0.9%	100.0%	34.6%
2013年	44.9%	6.0%	0.2%	5.8%	0.6%	18.4%	6.0%	0.5%	16.7%	0.8%	100.0%	34.5%
2014年	44.2%	5.6%	0.3%	6.3%	0.5%	18.4%	5.8%	0.6%	17.6%	0.7%	100.0%	35.3%
2015年	43.8%	5.4%	0.4%	6.2%	0.4%	19.2%	5.4%	0.7%	17.8%	0.6%	100.0%	34.8%
2016年	42.8%	5.9%	0.3%	6.2%	0.3%	19.5%	6.1%	0.7%	17.6%	0.4%	100.0%	35.8%
2017年	42.9%	5.5%	0.3%	6.3%	0.3%	19.8%	6.1%	0.7%	17.4%	0.5%	100.0%	35.3%
2018年	42.8%	5.5%	0.3%	6.4%	0.3%	19.9%	5.9%	0.8%	17.7%	0.3%	100.0%	35.5%
2019年	42.4%	5.5%	0.3%	6.6%	0.3%	19.8%	5.9%	0.7%	18.2%	0.3%	100.0%	36.1%
2020年	40.9%	4.9%	0.3%	8.0%	0.3%	19.7%	3.3%	0.8%	21.5%	0.3%	100.0%	37.7%

注) 賃金構造基本調査による。

<賃金格差の動向>

付表 3-1

正規・非正規格差（所定内給与・所定内労働時間）

	正規所定 内給与	非正規所 定内給与	正規所定 内労働時 間	非正規所 定内労働 時間	給与格差	労働時間 格差
2005年	318.5	191.4	166	164	0.6009	0.9880
2006年	318.8	191.0	167	164	0.5991	0.9820
2007年	318.2	192.9	167	163	0.6062	0.9760
2008年	316.5	194.8	165	163	0.6155	0.9879
2009年	310.4	194.6	165	163	0.6269	0.9879
2010年	311.5	198.1	165	163	0.6360	0.9879
2011年	312.8	195.9	166	164	0.6263	0.9880
2012年	317.0	196.4	165	164	0.6196	0.9939
2013年	314.7	195.3	164	161	0.6206	0.9817
2014年	317.7	200.3	164	163	0.6305	0.9939
2015年	321.1	205.1	164	163	0.6387	0.9939
2016年	321.7	211.8	165	163	0.6584	0.9879
2017年	321.6	210.8	166	163	0.6555	0.9819
2018年	323.9	209.4	165	161	0.6465	0.9758
2019年	325.4	211.2	161	158	0.6490	0.9814

注) 賃金構造基本調査による。

<時系列指数>

付表 4-1

3指数の時系列

	1999	2000	2001	2002	2003					
	h 11	h 12	h 13	h 14	h 15					
時間当たり賃金指数	101.2	100.0	100.2	100.1	98.7					
労働時間指数	99.5	100.0	100.0	98.5	99.4					
労働投入指数	99.6	100.0	95.8	93.2	92.8					

	2004	2005	2006	2007	2008					
	h 16	h 17	h 18	h 19	h 20					
時間当たり賃金指数	101.3	100.0	99.7	99.5	99.9					
労働時間指数	99.8	100.0	100.7	100.6	99.7					
労働投入指数	102.0	100.0	98.1	91.8	97.3					

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28	h29	h30
時間当たり賃金指数	100.5	100.0	98.9	99.0	99.2	99.3	99.5	99.0	98.6	99.6
労働時間指数	99.7	100.0	100.7	100.1	99.0	99.4	100.0	100.3	101.0	100.2
労働投入指数	102.8	100.0	99.3	120.3	115.4	114.9	116.8	120.2	118.0	110.6

注) 時間当たり賃金指数②-1、労働時間指数④-2、労働投入指数①-3。

付表 4-2- a

付表 4-2- b

一人当たり賃金指数 (h 11-15年)

	1999	2000	2001	2002	2003
kg	100.6	100.0	98.5	98.4	97.1
ke	101.1	100.0	99.7	96.6	97.1
z	100.4	100.0	100.4	99.3	98.9
de	99.4	100.0	99.7	98.3	97.5
un	101.3	100.0	100.1	97.6	96.3
ok	100.7	100.0	99.9	99.0	97.7
ki	100.9	100.0	100.4	97.9	97.4
fu	101.3	100.0	97.8	99.3	100.3
ta	100.8	100.0	100.6	98.8	98.3
全	100.7	100.0	100.2	98.6	98.0
実際値	99.5	100.0	101.2	100.1	100.0

一人当たり賃金指数 (h 16-20年)

	2004	2005	2006	2007	2008
kg	99.4	100.0	99.7	98.2	97.1
ke	102.4	100.0	101.9	100.0	99.8
z	101.3	100.0	101.2	100.8	100.1
de	100.4	100.0	98.7	97.0	96.7
jh	101.7	100.0	103.4	103.4	98.1
un	99.7	100.0	99.3	102.0	100.2
ok	100.4	100.0	97.7	97.9	99.3
ki	98.9	100.0	100.5	101.1	100.4
fu	102.4	100.0	101.4	100.6	97.8
su	100.5	100.0	99.2	98.1	98.7
ky	102.0	100.0	98.7	98.2	97.6
ir	100.2	100.0	99.4	98.6	98.9
fg	101.0	100.0	98.2	97.9	100.0
ta	103.4	100.0	101.6	100.6	99.0
全体	101.1	100.0	100.3	100.1	99.5
実際	99.9	100.0	99.9	99.7	99.0

注) ②-1 と②-2 の積より計算。①式。

また、kg (鉱業) などの略記は産業名であ

り、本文の図表 3.を参照。t a はサービス

業又はその他サービス業。

以下の表の kg、・・・ta 等も図表 3.

を参照せよ。同じような名前でも、差があ

ることに注意せよ。

付表 4-2- c

一人当たり賃金指数（h21-30年）

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
kg	100.3	100.0	95.3	98.1	96.2	95.3	98.2	98.3	96.9	95.0
ke	101.9	100.0	100.3	101.2	99.9	99.8	102.9	103.0	103.3	103.9
z	99.5	100.0	99.3	99.2	98.6	98.7	99.0	98.8	99.3	99.5
de	100.6	100.0	99.9	98.8	100.3	99.4	100.6	101.0	100.8	101.2
jh	100.5	100.0	102.2	98.0	97.7	93.8	98.3	94.0	95.2	94.6
un	96.8	100.0	98.1	99.2	97.5	100.7	101.2	104.7	103.2	105.4
ok	100.5	100.0	97.5	99.1	97.4	99.5	98.7	99.4	99.1	98.8
ki	100.7	100.0	104.3	99.3	97.8	98.9	101.5	99.5	100.0	101.0
fu	100.9	100.0	100.5	98.5	99.4	99.4	99.4	100.7	100.1	100.7
ga	100.2	100.0	99.4	97.5	97.5	97.3	95.0	96.2	96.8	97.2
su	101.4	100.0	99.8	98.6	97.6	99.1	99.4	99.3	99.5	100.8
se	101.5	100.0	99.2	98.9	98.2	97.7	97.8	97.2	97.5	98.9
ky	101.2	100.0	99.9	98.7	97.2	97.4	96.9	96.6	96.2	96.7
ir	100.6	100.0	100.1	98.8	98.6	97.5	99.2	98.2	98.9	98.6
fg	101.8	100.0	102.5	104.6	99.5	98.6	98.7	99.0	100.4	100.8
ta	101.6	100.0	101.1	97.7	97.5	100.3	100.3	100.1	99.6	99.0
全体	100.2	100.0	99.7	99.0	98.2	98.6	99.4	99.2	99.4	99.6
実際	99.4	100.0	100.2	100.5	99.8	101.1	102.6	102.6	102.7	103.4

付表 4-3-a 産業別 3 指数

時間当たり賃金指数（②-1）h11-15年

	1999	2000	2001	2002	2003
kg	100.9	100.0	98.8	101.5	99.3
ke	101.2	100.0	99.3	97.6	97.0
z	100.9	100.0	100.3	100.6	99.8
de	99.7	100.0	103.0	104.3	100.9
un	101.7	100.0	99.8	98.2	95.9
ok	101.1	100.0	99.2	99.4	97.4
ki	101.8	100.0	101.6	101.3	98.7
fu	101.0	100.0	99.1	101.5	101.1
ta	101.4	100.0	101.0	101.3	99.8
全	101.2	100.0	100.2	100.1	98.7

労働時間指数（h11～15年）

	1999	2000	2001	2002	2003
kg	100.2	100.0	99.3	96.5	96.7
ke	99.9	100.0	100.4	99.0	100.1
z	99.4	100.0	100.1	98.7	99.1
de	99.7	100.0	96.8	94.3	96.7
un	99.6	100.0	100.3	99.5	100.5
ok	99.5	100.0	100.7	99.7	100.4
ki	99.2	100.0	98.8	96.7	98.6
fu	100.3	100.0	98.7	98.0	99.3
ta	99.4	100.0	99.7	97.6	98.6
全	99.5	100.0	100.0	98.5	99.4

注) ④-2 式。

付表 4-3- b 産業別 3 指数

労働投入指数（h11～15年）

	1999	2000	2001	2002	2003
kg	106.5	100.0	96.1	89.1	77.4
ke	100.2	100.0	96.4	84.4	84.9
z	100.7	100.0	98.1	93.0	89.9
de	99.4	100.0	103.2	98.7	98.2
un	96.2	100.0	95.4	90.2	92.6
ok	98.1	100.0	90.4	88.5	91.5
ki	102.6	100.0	90.6	90.3	89.5
fu	102.2	100.0	101.9	105.1	95.9
ta	99.6	100.0	97.5	101.6	100.8
全	99.6	100.0	95.8	93.2	92.8

注) ①-3式。

時間当たり賃金指数（h16-20年）

	2004	2005	2006	2007	2008
kg	98.2	100.0	98.2	97.2	97.5
ke	101.5	100.0	99.9	97.6	98.4
z	101.5	100.0	100.8	100.2	100.9
de	104.1	100.0	98.2	98.7	99.2
jh	101.5	100.0	103.0	102.5	97.3
un	99.9	100.0	98.7	101.0	99.9
ok	99.8	100.0	96.6	97.1	99.3
ki	99.1	100.0	99.6	100.9	101.7
fu	104.0	100.0	100.2	100.6	98.3
su	99.1	100.0	99.4	98.7	99.1
ky	104.6	100.0	97.3	98.6	97.9
ir	100.6	100.0	99.0	98.3	99.6
fg	101.2	100.0	97.4	98.0	101.6
ta	104.4	100.0	101.9	101.4	100.5
全	101.3	100.0	99.7	99.5	99.9

労働投入指数（h16-20年）

	2004	2005	2006	2007	2008
kg	123.7	100.0	98.1	89.5	81.5
ke	99.7	100.0	89.7	81.1	76.0
z	100.6	100.0	102.8	96.7	94.8
de	100.9	100.0	94.7	95.5	96.5
jh	100.0	100.0	93.7	82.8	103.5
un	114.0	100.0	106.7	103.5	101.9
ok	103.8	100.0	94.0	85.1	97.0
ki	98.4	100.0	83.8	82.1	82.8
fu	132.7	100.0	110.7	101.1	114.1
su	106.1	100.0	102.4	90.5	99.0
ky	80.0	100.0	91.5	87.4	92.3
ir	105.5	100.0	102.6	98.7	118.7
fg	104.9	100.0	97.5	89.4	113.1
ta	101.3	100.0	100.7	95.6	104.8
全	102.0	100.0	98.1	91.8	97.3

労働時間指数（h16-20年）

	2004	2005	2006	2007	2008
kg	101.4	100.0	101.1	99.9	98.2
ke	100.8	100.0	102.1	102.6	101.5
z	99.8	100.0	100.4	100.6	99.3
de	96.4	100.0	100.5	98.3	97.4
jh	100.1	100.0	100.5	101.0	100.8
un	99.7	100.0	100.7	101.1	100.5
ok	100.6	100.0	101.2	100.8	100.1
ki	99.8	100.0	100.9	100.2	98.7
fu	98.3	100.0	101.2	99.9	99.5
su	101.4	100.0	99.8	99.5	99.7
ky	97.4	100.0	101.5	99.5	99.6
ir	99.7	100.0	100.4	100.3	99.3
fg	99.8	100.0	100.8	99.8	98.4
ta	99.0	100.0	99.8	99.3	98.7
全	99.8	100.0	100.7	100.6	99.7

付表 4-3- c 産業別 3 指数

時間当たり賃金指数（h21-30年）

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
kg	98.4	100.0	93.1	97.9	98.7	95.8	99.7	98.9	96.8	94.6
ke	102.0	100.0	99.7	101.1	100.8	100.6	102.5	103.4	102.9	103.9
z	100.9	100.0	98.3	99.2	99.6	99.5	99.3	98.8	98.7	99.4
de	102.3	100.0	98.9	99.1	104.5	101.2	99.5	100.7	100.2	102.2
jh	100.2	100.0	102.4	101.0	98.3	93.5	100.4	93.6	92.6	92.4
un	97.1	100.0	97.8	99.0	97.7	101.6	101.2	105.2	103.0	106.1
ok	99.7	100.0	96.0	97.6	97.1	99.2	98.1	98.8	98.0	98.0
ki	99.8	100.0	102.4	97.9	99.2	99.6	101.2	98.1	97.0	99.9
fu	101.7	100.0	102.0	99.5	102.0	101.4	101.5	103.1	101.4	102.5
ga	101.5	100.0	99.1	98.1	100.2	99.3	95.2	96.5	96.7	97.6
su	101.0	100.0	100.5	98.7	97.9	99.4	99.4	99.7	99.8	101.6
se	102.2	100.0	99.5	98.8	98.7	98.6	98.8	98.3	99.1	100.3
ky	101.3	100.0	99.7	100.4	102.3	99.9	97.7	95.4	95.0	97.8
ir	100.5	100.0	99.7	99.1	100.5	98.7	99.9	98.6	99.0	99.8
fg	101.7	100.0	102.4	105.3	102.8	100.4	98.5	98.8	99.8	101.4
ta	101.3	100.0	100.4	97.4	98.4	101.2	99.9	99.9	99.2	99.9
全産業	100.5	100.0	98.9	99.0	99.2	99.3	99.5	99.0	98.6	99.6

労働時間指数（h 21-30年）

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
kg	102.4	100.0	101.7	99.2	96.2	97.5	96.3	97.2	96.5	96.3
ke	100.0	100.0	100.7	100.1	99.1	99.0	100.3	99.4	100.2	99.9
z	98.6	100.0	101.0	100.1	99.0	99.2	99.8	100.1	100.7	100.2
de	98.4	100.0	100.9	99.5	95.7	97.9	100.9	99.9	100.3	98.7
jh	100.1	100.0	99.8	97.2	99.8	100.7	98.6	101.2	103.7	103.3
un	99.7	100.0	100.3	100.3	99.9	99.3	100.3	99.8	100.5	99.7
ok	100.8	100.0	101.6	101.6	100.4	100.4	100.7	100.8	101.3	101.0
ki	101.0	100.0	101.8	101.4	98.6	99.3	100.4	101.5	103.0	101.1
fu	99.1	100.0	98.6	99.1	97.6	98.3	98.1	97.9	98.9	98.6
ga	98.8	100.0	100.3	99.4	97.4	98.1	99.9	99.6	100.1	99.6
su	100.4	100.0	99.4	99.9	99.8	99.8	100.0	99.7	99.8	99.4
se	99.3	100.0	99.6	100.0	99.6	99.2	99.1	99.1	98.7	98.8
ky	99.8	100.0	100.2	98.3	95.0	97.6	99.3	101.5	101.4	98.9
ir	100.1	100.0	100.4	99.6	98.1	98.7	99.3	99.6	99.9	98.9
fg	100.1	100.0	100.0	99.3	96.8	98.3	100.3	100.3	100.6	99.5
ta	100.2	100.0	100.8	100.4	99.3	99.3	100.5	100.4	100.7	99.4
全	99.7	100.0	100.7	100.1	99.0	99.4	100.0	100.3	101.0	100.2

労働投入指数（h 21-30年）

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
kg	115.3	100.0	95.7	106.3	92.5	84.6	95.8	88.1	75.3	56.5
ke	107.2	100.0	102.9	114.3	123.2	122.2	127.0	130.0	111.7	115.9
z	97.2	100.0	97.2	109.4	102.3	101.5	101.5	98.0	100.0	92.7
de	90.9	100.0	98.2	113.4	104.0	116.4	114.2	104.8	100.0	95.6
jh	117.1	100.0	108.1	180.9	129.6	135.2	144.0	151.4	146.0	123.0
un	109.6	100.0	94.4	128.5	125.7	114.3	109.8	104.8	107.8	99.0
ok	102.8	100.0	91.9	111.2	110.2	103.9	105.2	115.6	113.4	104.4
ki	101.6	100.0	103.8	117.0	120.5	119.4	118.2	123.6	126.1	111.8
fu	97.3	100.0	90.7	117.3	111.3	110.6	113.3	117.8	112.4	111.6
ga	97.4	100.0	103.4	124.0	123.2	106.0	124.8	135.7	136.9	129.8
su	102.1	100.0	91.5	112.8	106.2	104.8	108.1	102.4	99.8	99.6
se	105.0	100.0	91.2	109.3	108.7	101.1	100.0	96.1	99.4	86.3
ky	106.9	100.0	105.3	115.6	116.9	121.4	133.3	121.1	126.7	115.6
ir	103.1	100.0	107.5	123.7	122.3	132.2	137.1	150.6	140.1	141.4
fg	101.7	100.0	102.7	98.9	157.7	223.7	174.0	169.6	169.0	156.0
ta	109.0	100.0	104.0	153.9	135.0	135.8	136.9	155.6	155.0	140.2
全	102.8	100.0	99.3	120.3	115.4	114.9	116.8	120.2	118.0	110.6

<都道府県比較>

付表 5-1 2018 年

一人当たり賃金指数と実働値（所定内給与額）の順位の関連

一人当たり賃金 実働値	1-10			11-20			21-30			31-40			41-47		
1-10	東京 愛知 三重	神奈川 千葉 京都	大阪 埼玉	奈良	茨城										
11-20	兵庫	広島		栃木 静岡	滋賀 福岡	岐阜 群馬	宮城	香川							
21-30				岡山	富山		石川 長野 福島	山口 福井	和歌山 北海道	山梨					
31-40							新潟			徳島 愛媛 鹿児島	大分 熊本 長崎	高知 佐賀	鳥取		
41-47										島根			岩手 青森	沖縄 秋田	山形 宮崎

注）表例は賃金構造基本調査の「所定内給与額」の各都道府県の値に順位をつけ、分類したものである。表頭は①式の一人当たり賃金指数の都道府県の値に順位をつけ、分類したものである。この表は、クロス表である。

付表 5-2-a 2009 年

都道府県別3指数（h21年）				
	賃金	労働時間	労働者数	全体
	⑥-1	⑤-2	①-3	左辺
北海道	0.8799	1.0080	0.0400	0.0359
青森	0.7704	0.9767	0.0086	0.0069
岩手	0.8202	0.9940	0.0096	0.0082
宮城	0.9161	0.9856	0.0153	0.0139
秋田	0.8025	0.9815	0.0082	0.0068
山形	0.8333	0.9838	0.0089	0.0077
福島	0.8733	0.9868	0.0140	0.0126
茨城	0.9743	0.9725	0.0186	0.0183
栃木	0.9482	0.9837	0.0165	0.0157
群馬	0.9354	0.9970	0.0149	0.0143
埼玉	1.0026	0.9978	0.0404	0.0410
千葉	1.0038	0.9961	0.0318	0.0322
東京	1.2083	0.9833	0.1831	0.2116
神奈川	1.0708	0.9792	0.0590	0.0619
新潟	0.8833	1.0071	0.0199	0.0180
富山	0.8987	0.9867	0.0094	0.0087
石川	0.9314	0.9902	0.0093	0.0088
福井	0.9251	1.0054	0.0066	0.0063
山梨	0.9579	0.9825	0.0055	0.0054
長野	0.9353	1.0053	0.0167	0.0162
岐阜	0.9259	0.9997	0.0136	0.0131
静岡	0.9457	0.9707	0.0300	0.0295
愛知	1.0281	1.0028	0.0720	0.0742
三重	0.9521	0.9799	0.0133	0.0132
滋賀	0.9681	0.9837	0.0093	0.0092
京都	1.0037	0.9847	0.0169	0.0169
大阪	1.0723	0.9893	0.0663	0.0706
兵庫	1.0051	0.9784	0.0376	0.0374
奈良	0.9434	1.0002	0.0061	0.0061
和歌山	0.9005	0.9889	0.0053	0.0051
鳥取	0.8077	0.9768	0.0040	0.0034
島根	0.8320	0.9735	0.0052	0.0045
岡山	0.9202	1.0092	0.0138	0.0131
広島	0.9301	1.0026	0.0237	0.0221
山口	0.8957	0.9981	0.0115	0.0106
徳島	0.8715	0.9841	0.0045	0.0042
香川	0.9196	0.9977	0.0075	0.0071
愛媛	0.8818	1.0022	0.0103	0.0093
高知	0.8529	0.9780	0.0041	0.0036
福岡	0.9209	0.9993	0.0448	0.0416
佐賀	0.8352	0.9896	0.0066	0.0058
長崎	0.8429	1.0052	0.0093	0.0082
熊本	0.8690	1.0003	0.0144	0.0126
大分	0.8305	0.9713	0.0077	0.0067
宮崎	0.7919	0.9772	0.0070	0.0059
鹿児島	0.8348	1.0116	0.0111	0.0094
沖縄	0.7794	0.9590	0.0085	0.0070

注) 付図 5-1- a のデータ。

付表 5-2- b 2013 年

都道府県別3指数（h25年）				
	賃金	労働時間	労働者数	全体
	⑥-1	⑤-2	①-3	左辺
北海道	0.8883	0.9986	0.0406	0.0366
青森	0.8230	0.9897	0.0095	0.0079
岩手	0.8232	0.9909	0.0101	0.0084
宮城	0.9127	0.9916	0.0188	0.0176
秋田	0.8207	0.9762	0.0076	0.0063
山形	0.8155	0.9917	0.0090	0.0077
福島	0.9035	0.9946	0.0137	0.0128
茨城	0.9481	0.9930	0.0202	0.0193
栃木	0.9779	0.9867	0.0146	0.0143
群馬	0.9385	0.9915	0.0136	0.0130
埼玉	1.0110	0.9972	0.0406	0.0417
千葉	1.0262	0.9885	0.0346	0.0356
東京	1.1747	0.9850	0.1680	0.1922
神奈川	1.0775	0.9938	0.0587	0.0619
新潟	0.9014	0.9964	0.0201	0.0184
富山	0.9038	0.9942	0.0102	0.0098
石川	0.9013	1.0014	0.0094	0.0087
福井	0.9147	1.0059	0.0065	0.0061
山梨	0.9349	0.9821	0.0058	0.0056
長野	0.9450	0.9952	0.0158	0.0152
岐阜	0.9573	0.9926	0.0148	0.0146
静岡	0.9838	0.9924	0.0296	0.0294
愛知	1.0351	0.9907	0.0714	0.0730
三重	0.9613	0.9764	0.0137	0.0134
滋賀	0.9699	0.9868	0.0106	0.0105
京都	1.0050	0.9872	0.0167	0.0169
大阪	1.0511	1.0036	0.0800	0.0843
兵庫	0.9912	0.9773	0.0372	0.0379
奈良	0.9321	0.9968	0.0057	0.0055
和歌山	0.8859	0.9734	0.0048	0.0045
鳥取	0.8234	0.9787	0.0041	0.0035
島根	0.8326	0.9856	0.0052	0.0045
岡山	0.9486	0.9849	0.0144	0.0140
広島	0.9350	0.9967	0.0235	0.0226
山口	0.8809	0.9977	0.0107	0.0096
徳島	0.8656	0.9723	0.0047	0.0042
香川	0.9049	0.9942	0.0074	0.0070
愛媛	0.8829	0.9918	0.0096	0.0085
高知	0.8552	0.9777	0.0044	0.0038
福岡	0.9520	1.0024	0.0414	0.0397
佐賀	0.8357	0.9943	0.0059	0.0050
長崎	0.8339	0.9921	0.0098	0.0084
熊本	0.8718	0.9962	0.0123	0.0109
大分	0.8412	0.9897	0.0087	0.0074
宮崎	0.7808	0.9841	0.0072	0.0058
鹿児島	0.8392	1.0124	0.0114	0.0100
沖縄	0.7897	0.9850	0.0086	0.0070

注) 付図 5-1- b のデータ。

付表 5-2- c 2018 年

都道府県別3指数（h30年）				
	賃金	労働時間	労働者数	全体
	⑥-1	⑤-2	①-3	左辺
北海道	0.9094	0.9949	0.0385	0.0353
青森	0.8304	0.9863	0.0079	0.0066
岩手	0.8388	0.9961	0.0100	0.0085
宮城	0.9260	0.9860	0.0183	0.0170
秋田	0.8169	0.9932	0.0078	0.0065
山形	0.8355	0.9939	0.0094	0.0081
福島	0.8972	1.0007	0.0150	0.0138
茨城	0.9472	1.0025	0.0226	0.0220
栃木	0.9494	0.9953	0.0156	0.0152
群馬	0.9259	1.0029	0.0168	0.0160
埼玉	1.0043	0.9966	0.0437	0.0439
千葉	1.0034	0.9982	0.0357	0.0361
東京	1.1902	0.9852	0.1740	0.1999
神奈川	1.0745	0.9866	0.0547	0.0579
新潟	0.8905	0.9982	0.0192	0.0176
富山	0.9152	1.0056	0.0100	0.0095
石川	0.9183	0.9858	0.0097	0.0092
福井	0.8974	0.9997	0.0066	0.0062
山梨	0.8824	0.9389	0.0051	0.0049
長野	0.9206	0.9926	0.0173	0.0164
岐阜	0.9482	0.9993	0.0146	0.0143
静岡	0.9535	1.0024	0.0290	0.0284
愛知	1.0263	0.9971	0.0755	0.0775
三重	0.9694	0.9934	0.0140	0.0140
滋賀	0.9650	0.9888	0.0103	0.0101
京都	0.9843	0.9980	0.0176	0.0176
大阪	1.0547	1.0022	0.0696	0.0732
兵庫	0.9878	0.9983	0.0359	0.0355
奈良	0.9386	0.9944	0.0055	0.0055
和歌山	0.8866	1.0001	0.0053	0.0049
鳥取	0.8347	0.9736	0.0041	0.0036
島根	0.8477	0.9838	0.0051	0.0044
岡山	0.9291	0.9943	0.0136	0.0128
広島	0.9708	1.0018	0.0199	0.0195
山口	0.8868	0.9984	0.0104	0.0096
徳島	0.8656	0.9826	0.0050	0.0046
香川	0.9177	0.9934	0.0076	0.0072
愛媛	0.8719	0.9986	0.0101	0.0089
高知	0.8541	0.9917	0.0051	0.0045
福岡	0.9454	0.9997	0.0433	0.0412
佐賀	0.8342	1.0091	0.0066	0.0058
長崎	0.8497	1.0055	0.0084	0.0073
熊本	0.8673	0.9995	0.0132	0.0117
大分	0.8711	0.9883	0.0071	0.0063
宮崎	0.7846	0.9745	0.0065	0.0054
鹿児島	0.8442	1.0088	0.0108	0.0094
沖縄	0.7464	0.9193	0.0087	0.0074

注) 付図 5-1- c のデータ。

付表 5-3-a 2009 年

一人当たり賃金格差（h21年）

	賃金②-1	労働時間 ②-2	積（一人 当たり賃 金）	順位
北海道	0.8799	1.0114	0.8899	31
青森	0.7704	1.0103	0.7783	47
岩手	0.8202	1.0118	0.8298	42
宮城	0.9161	0.9935	0.9101	26
秋田	0.8025	1.0039	0.8056	44
山形	0.8333	1.0071	0.8392	39
福島	0.8733	1.0018	0.8749	34
茨城	0.9743	0.9835	0.9582	11
栃木	0.9482	0.9931	0.9416	16
群馬	0.9354	1.0043	0.9394	19
埼玉	1.0026	1.0036	1.0062	5
千葉	1.0038	0.9997	1.0035	6
東京	1.2083	0.9829	1.1876	1
神奈川	1.0708	0.9836	1.0532	3
新潟	0.8833	1.0120	0.8939	29
富山	0.8987	1.0052	0.9033	27
石川	0.9314	1.0027	0.9340	22
福井	0.9251	1.0175	0.9414	17
山梨	0.9579	0.9994	0.9573	12
長野	0.9353	1.0118	0.9464	14
岐阜	0.9259	1.0155	0.9403	18
静岡	0.9457	1.0000	0.9457	15
愛知	1.0281	1.0061	1.0344	4
三重	0.9521	0.9989	0.9511	13
滋賀	0.9681	0.9973	0.9655	10
京都	1.0037	0.9932	0.9969	7
大阪	1.0723	0.9946	1.0665	2
兵庫	1.0051	0.9800	0.9851	8
奈良	0.9434	1.0280	0.9698	9
和歌山	0.9005	1.0143	0.9134	25
鳥取	0.8077	1.0130	0.8181	43
島根	0.8320	0.9993	0.8315	41
岡山	0.9202	1.0154	0.9343	21
広島	0.9301	1.0084	0.9379	20
山口	0.8957	1.0037	0.8990	28
徳島	0.8715	1.0102	0.8804	32
香川	0.9196	1.0083	0.9273	23
愛媛	0.8818	1.0121	0.8924	30
高知	0.8529	1.0093	0.8609	36
福岡	0.9209	1.0024	0.9231	24
佐賀	0.8352	1.0154	0.8480	38
長崎	0.8429	1.0219	0.8614	35
熊本	0.8690	1.0086	0.8765	33
大分	0.8305	1.0067	0.8360	40
宮崎	0.7919	1.0155	0.8042	45
鹿児島	0.8348	1.0177	0.8496	37
沖縄	0.7794	1.0096	0.7869	46

付表 5-3- b 2013 年

一人当たり賃金格差（h25年）

	賃金②-1	労働時間 ②-2	積（一人 当たり賃 金）	順位
北海道	0.8883	1.0020	0.8901	30
青森	0.8230	0.9996	0.8227	44
岩手	0.8232	1.0026	0.8253	43
宮城	0.9127	1.0004	0.9131	26
秋田	0.8207	0.9915	0.8137	45
山形	0.8155	1.0123	0.8255	42
福島	0.9035	1.0021	0.9054	28
茨城	0.9481	0.9983	0.9465	16
栃木	0.9779	0.9932	0.9712	11
群馬	0.9385	1.0037	0.9420	19
埼玉	1.0110	1.0003	1.0113	6
千葉	1.0262	0.9922	1.0182	5
東京	1.1747	0.9857	1.1579	1
神奈川	1.0775	0.9948	1.0719	2
新潟	0.9014	1.0061	0.9069	27
富山	0.9038	1.0123	0.9149	25
石川	0.9013	1.0156	0.9153	24
福井	0.9147	1.0206	0.9335	21
山梨	0.9349	0.9974	0.9325	22
長野	0.9450	0.9985	0.9435	18
岐阜	0.9573	1.0031	0.9603	12
静岡	0.9838	0.9978	0.9816	9
愛知	1.0351	0.9951	1.0300	4
三重	0.9613	0.9943	0.9558	14
滋賀	0.9699	1.0035	0.9733	10
京都	1.0050	0.9981	1.0032	7
大阪	1.0511	1.0062	1.0575	3
兵庫	0.9912	0.9982	0.9894	8
奈良	0.9321	1.0180	0.9490	15
和歌山	0.8859	1.0114	0.8960	29
鳥取	0.8234	1.0041	0.8268	41
島根	0.8326	1.0049	0.8367	40
岡山	0.9486	0.9953	0.9441	17
広島	0.9350	1.0068	0.9413	20
山口	0.8809	1.0068	0.8869	31
徳島	0.8656	0.9980	0.8638	34
香川	0.9049	1.0125	0.9162	23
愛媛	0.8829	1.0015	0.8842	32
高知	0.8552	1.0031	0.8579	36
福岡	0.9520	1.0051	0.9568	13
佐賀	0.8357	1.0079	0.8423	38
長崎	0.8339	1.0070	0.8397	39
熊本	0.8718	1.0037	0.8750	33
大分	0.8412	1.0043	0.8448	37
宮崎	0.7808	1.0130	0.7909	47
鹿児島	0.8392	1.0234	0.8588	35
沖縄	0.7897	1.0092	0.7969	46

付表 5-3- c 2018 年

一人当たり賃金格差（h30）

	賃金②-1	労働時間 ②-2	積（一人 当たり賃 金）	順位
北海道	0.9094	0.9969	0.9066	25
青森	0.8304	1.0021	0.8321	44
岩手	0.8388	1.0042	0.8424	41
宮城	0.9260	0.9927	0.9193	23
秋田	0.8169	1.0018	0.8184	45
山形	0.8355	1.0048	0.8395	42
福島	0.8972	1.0066	0.9031	27
茨城	0.9472	1.0092	0.9559	14
栃木	0.9494	1.0035	0.9527	16
群馬	0.9259	1.0096	0.9348	18
埼玉	1.0043	0.9972	1.0015	6
千葉	1.0034	1.0003	1.0036	5
東京	1.1902	0.9853	1.1727	1
神奈川	1.0745	0.9876	1.0612	2
新潟	0.8905	1.0044	0.8944	30
富山	0.9152	1.0129	0.9270	20
石川	0.9183	1.0070	0.9247	21
福井	0.8974	1.0101	0.9065	26
山梨	0.8824	1.0032	0.8852	31
長野	0.9206	0.9980	0.9188	24
岐阜	0.9482	1.0049	0.9528	15
静岡	0.9535	1.0053	0.9585	12
愛知	1.0263	0.9986	1.0248	4
三重	0.9694	0.9998	0.9692	10
滋賀	0.9650	0.9995	0.9645	11
京都	0.9843	1.0026	0.9869	7
大阪	1.0547	1.0041	1.0590	3
兵庫	0.9878	0.9990	0.9867	8
奈良	0.9386	1.0199	0.9573	13
和歌山	0.8866	1.0177	0.9023	28
鳥取	0.8347	0.9990	0.8339	43
島根	0.8477	0.9949	0.8434	40
岡山	0.9291	1.0015	0.9304	19
広島	0.9708	1.0070	0.9776	9
山口	0.8868	1.0096	0.8953	29
徳島	0.8656	1.0027	0.8680	35
香川	0.9177	1.0063	0.9234	22
愛媛	0.8719	1.0057	0.8769	32
高知	0.8541	1.0093	0.8620	36
福岡	0.9454	1.0004	0.9457	17
佐賀	0.8342	1.0178	0.8490	39
長崎	0.8497	1.0101	0.8583	37
熊本	0.8673	1.0096	0.8756	33
大分	0.8711	1.0003	0.8714	34
宮崎	0.7846	1.0074	0.7903	46
鹿児島	0.8442	1.0163	0.8580	38
沖縄	0.7464	1.0018	0.7478	47

<産業別比較>

付表 6-1-a 2009 年

付表 6-1-b 2013 年

付 6-1-c 2018 年

賃金格差と労働時間格差 h 21

	②-1	④-2
	賃金格差	労働時間
鉱業	1.0826	0.9458
建設	1.0201	1.0065
製造	0.9721	0.9889
電気	1.1471	0.9516
情報	1.2020	0.9526
運輸	0.8356	1.0149
卸小	0.9739	1.0204
金融	1.2037	0.9554
不動産	1.0327	1.0120
学術	1.1554	0.9730
宿泊	0.8217	1.0636
生活	0.9369	1.0277
教育	1.0807	0.9994
医療	1.0412	1.0086
複合	0.9204	0.9860
サービス	0.8798	1.0040
全	1.0191	0.9944

賃金格差と労働時間格差 h 25

	②-1	④-2
	賃金格差	労働時間
鉱業	1.1380	0.9168
建設	1.0265	1.0087
製造	0.9725	1.0017
電気	1.1773	0.9369
情報	1.2042	0.9427
運輸	0.8404	1.0266
卸小	0.9575	1.0240
金融	1.2501	0.9280
不動産	1.0468	1.0010
学術	1.1481	0.9664
宿泊	0.7979	1.0671
生活	0.9182	1.0393
教育	1.0993	0.9739
医療	1.0547	0.9905
複合	0.9415	0.9630
サービス	0.8597	1.0011
全	1.0270	0.9867

賃金格差と労働時間格差 h 30

	②-1	④-2
産業	賃金格差	労働時間
鉱業	1.1879	0.9266
建設	1.0576	1.0124
製造	0.9647	1.0025
電気	1.1509	0.9521
情報	1.1799	0.9614
運輸	0.9027	1.0136
卸小	0.9622	1.0175
金融	1.2212	0.9455
不動産	1.0346	1.0018
学術	1.1384	0.9771
宿泊	0.8105	1.0533
生活	0.9099	1.0213
教育	1.0789	0.9925
医療	1.0352	0.9915
複合	0.9200	0.9802
サービス	0.8577	0.9909
全	1.0258	0.9900

付表 6-2-a 2009 年

付表 6-2-b 2013 年

付表 6-2-c 2018 年

一人当たり賃金格差 h 21

	実数値	産業計=1	指数
産業計	294.5	1.0000	1.0148
鉱業	315.9	1.0727	1.0523
建設	318.5	1.0815	1.0296
製造	287.4	0.9759	0.9611
電力	395.2	1.3419	1.1046
情報	358.6	1.2177	1.1485
運輸	255.1	0.8662	0.8482
卸小	297.0	1.0085	0.9934
金融	368.6	1.2516	1.1587
不動産	313.1	1.0632	1.0448
学術	364.2	1.2367	1.1268
宿泊	237.5	0.8065	0.8736
生活	250.1	0.8492	0.9628
教育	391.4	1.3290	1.0859
医療	272.1	0.9239	1.0528
複合	281.4	0.9555	0.9123
サービス	250.1	0.8492	0.8815

一人当たり賃金格差 h 25

	実数値	産業計=1	指数
産業計	295.7	1.0000	1.0120
鉱業	311.9	1.0548	1.0665
建設	317	1.0720	1.0369
製造	289.9	0.9804	0.9733
電力	406.5	1.3747	1.1132
情報	376.2	1.2722	1.1418
運輸	258.5	0.8742	0.8619
卸小	293.3	0.9919	0.9801
金融	363.4	1.2289	1.1680
不動産	316.7	1.0710	1.0475
学術	372.4	1.2594	1.1104
宿泊	232.6	0.7866	0.8503
生活	253.6	0.8576	0.9534
教育	385.5	1.3037	1.0741
医療	272.8	0.9226	1.0476
複合	288.5	0.9757	0.9094
サービス	249.2	0.8427	0.8582

一人当たり賃金格差 h 30

	実数値	産業計=1	指数
産業計	306.2	1.000	1.0165
鉱業	333.1	1.088	1.1407
建設	334.7	1.093	1.0720
製造	296.5	0.968	0.9667
電力	417.5	1.363	1.1014
情報	377.5	1.233	1.1373
運輸	280.8	0.917	0.9144
卸小	309.2	1.010	0.9787
金融	369.9	1.208	1.1627
不動産	326.6	1.067	1.0363
学術	383.6	1.253	1.1142
宿泊	245.3	0.801	0.8527
生活	262.4	0.857	0.9289
教育	381.5	1.246	1.0736
医療	277	0.905	1.0291
複合	270.7	0.884	0.9057
サービス	255.6	0.835	0.8491

<企業規模比較>

付表7-1 規模別一人当たり賃金格差

	1981年	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	
大企業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
中企業	84.1%	82.9%	82.8%	83.4%	82.8%	81.9%	82.3%	82.0%	80.9%	
小企業	78.1%	77.1%	76.5%	76.3%	75.9%	75.2%	75.3%	75.7%	75.0%	
	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年
大企業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
中企業	82.1%	83.3%	83.7%	83.8%	84.1%	83.8%	83.0%	82.8%	82.5%	82.8%
小企業	76.3%	77.4%	78.9%	78.4%	78.3%	77.9%	76.9%	76.5%	76.0%	76.0%
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
大企業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
中企業	82.0%	81.5%	83.1%	81.9%	81.4%	80.5%	80.7%	81.1%	84.0%	83.3%
小企業	75.1%	74.2%	74.3%	73.9%	74.3%	73.2%	73.3%	74.9%	76.8%	75.9%
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
大企業	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
中企業	82.2%	81.4%	83.1%	81.6%	81.9%	82.9%	84.0%	83.5%	83.9%	
小企業	74.5%	73.3%	74.9%	75.9%	75.6%	75.2%	76.7%	77.6%	76.9%	

注) 賃金構造基本調査の結果から。

付表 7-2 2009-2018 年

一人当たり賃金の規模格差

	大	中	小
h21	1.0000	0.8900	0.8286
h22	1.0000	0.8770	0.8207
h23	1.0000	0.8820	0.8061
h24	1.0000	0.8848	0.8197
h25	1.0000	0.8702	0.8295
h26	1.0000	0.8796	0.8191
h27	1.0000	0.8865	0.8181
h28	1.0000	0.8784	0.8269
h29	1.0000	0.8900	0.8443
h30	1.0000	0.8856	0.8286

付表 7-3 2009-2018 年

時間当たり賃金の規模格差

全産業 ②-1

	大	中	小
h21	1.0000	0.8638	0.7787
h22	1.0000	0.8540	0.7731
h23	1.0000	0.8579	0.7612
h24	1.0000	0.8446	0.7606
h25	1.0000	0.8388	0.7747
h26	1.0000	0.8524	0.7627
h27	1.0000	0.8553	0.7609
h28	1.0000	0.8532	0.7789
h29	1.0000	0.8661	0.7996
h30	1.0000	0.8579	0.7759

付表 7-4 2009-2018 年

労働時間指数

全産業 ④-2

	大	中	小
h21	1.0000	1.0316	1.0651
h22	1.0000	1.0272	1.0613
h23	1.0000	1.0280	1.0593
h24	1.0000	1.0488	1.0829
h25	1.0000	1.0377	1.0732
h26	1.0000	1.0324	1.0760
h27	1.0000	1.0370	1.0776
h28	1.0000	1.0299	1.0626
h29	1.0000	1.0274	1.0563
h30	1.0000	1.0323	1.0694

<性別比較>

付表 8-1-a 2009 年

付表 8-1-b 2013 年

付表 8-1-c 2018 年

産業別男女格差 (h21年)

	時間当 り賃金 格差	労働時間 格差	一人当 り賃金 指数 比
kg	0.6651	0.9476	0.6557
ke	0.6734	0.9708	0.6633
z	0.7196	0.9907	0.7130
de	0.8004	0.9820	0.7976
jh	0.8288	0.9871	0.8170
un	0.7958	0.9595	0.7686
ok	0.7600	0.9749	0.7406
ki	0.7134	0.9731	0.6936
fu	0.7377	0.9689	0.7155
ga	0.8234	0.9801	0.8080
su	0.7685	0.9609	0.7386
se	0.7951	0.9699	0.7712
ky	0.8914	0.9862	0.8810
ir	0.8412	0.9805	0.8259
fg	0.7295	0.9858	0.7222
ta	0.8077	0.9596	0.7758
w	0.7680	0.9784	0.7529

⑬

⑭

⑮

産業別男女格差 (平成25年)

	時間当 り賃金 格差	労働時間 格差	一人当 り賃金 指数 比
kg	0.7064	0.9247	0.6950
ke	0.6994	0.9627	0.6853
z	0.7383	0.9939	0.7337
de	0.7955	0.9741	0.7832
jh	0.8230	0.9844	0.8113
un	0.7815	0.9585	0.7505
ok	0.7759	0.9723	0.7541
ki	0.7102	0.9591	0.6819
fu	0.7381	0.9693	0.7150
ga	0.8215	0.9678	0.7979
su	0.7807	0.9620	0.7513
se	0.8122	0.9666	0.7859
ky	0.8885	0.9875	0.8784
ir	0.8318	0.9937	0.8269
fg	0.7340	0.9898	0.7269
ta	0.8040	0.9539	0.7673
w	0.7754	0.9779	0.7597

産業別男女別格差 (平成30年)

	時間当 り賃金 格差	労働時間 格差	一人当 り賃金 指数 比
kg	0.6910	0.8654	0.6792
ke	0.7152	0.9661	0.6963
z	0.7550	0.9913	0.7488
de	0.7528	0.9836	0.7433
jh	0.8621	0.9838	0.8488
un	0.8012	0.9681	0.7765
ok	0.7743	0.9734	0.7536
ki	0.7270	0.9565	0.6968
fu	0.7524	0.9719	0.7319
ga	0.7973	0.9816	0.7833
su	0.8009	0.9618	0.7703
se	0.8147	0.9650	0.7871
ky	0.8769	0.9898	0.8683
ir	0.8566	0.9903	0.8483
fg	0.7602	0.9877	0.7507
ta	0.8242	0.9603	0.7915
w	0.7905	0.9790	0.7748

付表 8-2- a 2009 年

一人当たり賃金指数と調査データの格差比較h21

	男子結果	女子結果	調査結果	一人当たり賃金指数比
鉱業	328.6	225.5	0.6862	0.6557
建設	331.9	217.9	0.6565	0.6633
製造	315.1	196.6	0.6239	0.7130
電水	406.1	298.1	0.7341	0.7976
情報	384.7	277.1	0.7203	0.8170
運輸	261.7	202.9	0.7753	0.7686
卸小	334.2	218	0.6523	0.7406
金保	468.1	258.4	0.5520	0.6936
不動産	348.4	226	0.6487	0.7155
学術	393.2	271.4	0.6902	0.8080
宿泊	268.9	186.9	0.6951	0.7386
生活	285.1	207.7	0.7285	0.7712
教育	448.9	306.5	0.6828	0.8810
医療	351.6	243.8	0.6934	0.8259
複合	313.9	213.2	0.6792	0.7222
他サー	271.7	206.1	0.7586	0.7758
産業計	326.8	228	0.6977	0.7529

付表 8-2- b 2013 年

一人当たり賃金指数と調査データの格差比較h25

	男子結果	女子結果	調査結果	一人当たり賃金指数比
鉱業	321.7	238.4	0.7411	0.6950
建設	330	227.6	0.6897	0.6853
製造	315	204.1	0.6479	0.7337
電水	417.6	316	0.7567	0.7832
情報	403.7	290.5	0.7196	0.8113
運輸	265.5	203.1	0.7650	0.7505
卸小	326.7	218.1	0.6676	0.7541
金保	459.9	265.5	0.5773	0.6819
不動産	351.4	236.6	0.6733	0.7150
学術	399.1	281	0.7041	0.7979
宿泊	263.7	185.7	0.7042	0.7513
生活	285.2	210.5	0.7381	0.7859
教育	440.8	307.1	0.6967	0.8784
医療	347.2	245.5	0.7071	0.8269
複合	315.5	216.2	0.6853	0.7269
他サー	268.5	203.5	0.7579	0.7673
産業計	326	232.6	0.7135	0.7597

付表 8-2- c 2018 年

一人当たり賃金指数と調査データの格差比較h30

	男子結果	女子結果	調査結果	一人当たり賃金指数比
鉱業	342.4	271.9	0.7941	0.6792
建設	349.1	246.1	0.7050	0.6963
製造	320.3	217.3	0.6784	0.7488
電水	431.7	312	0.7227	0.7433
情報	399.6	305.2	0.7638	0.8488
運輸	289	230.8	0.7986	0.7765
卸小	346.4	234	0.6755	0.7536
金保	470.4	277.7	0.5903	0.6968
不動産	363.1	252.7	0.6960	0.7319
学術	415.8	294.5	0.7083	0.7833
宿泊	275.1	202.1	0.7346	0.7703
生活	297.2	220.1	0.7406	0.7871
教育	439.5	314.7	0.7160	0.8683
医療	340.2	258.4	0.7596	0.8483
複合	322.5	231	0.7163	0.7507
他サー	273.7	216.8	0.7921	0.7915
産業計	337.6	247.5	0.7331	0.7748

付表 8-3

労働投入指数（男子）

	男子 h 21	男子 h 25	男子 h 30
鉱業	0.8853	0.8830	0.8685
建設	0.8912	0.8805	0.8665
製造	0.7893	0.7938	0.7865
電水	0.9092	0.8983	0.8890
情報	0.7848	0.7821	0.7871
運輸	0.8908	0.8887	0.8578
卸小	0.7130	0.7187	0.6980
金保	0.6211	0.5851	0.5575
不動産	0.7432	0.7238	0.6898
学術	0.7945	0.7995	0.7581
宿泊	0.6361	0.6220	0.6079
生活	0.5684	0.5978	0.5682
教育	0.6619	0.6471	0.5872
医療	0.3064	0.3079	0.3150
複合	0.7035	0.7499	0.7295
他サー	0.6829	0.7100	0.6850
産業計	0.7058	0.7045	0.6778

2009 2013 2018 年

<雇用形態間比較>

付表 9-1- a 2009 年

付表 9-1- b 2013 年

付表 9-1- c 2018 年

時間当たり賃金格差と労働時間格差h21

産業	②-1	④-2
kg	0.5275	0.7225
ke	0.8369	0.9852
z	0.6879	1.0072
de	0.4249	0.7592
jh	0.7413	0.9792
un	0.7543	0.9978
ok	0.6597	0.9986
ki	0.9571	1.0092
fu	0.7037	0.9740
ga	0.8363	0.9782
su	0.7445	0.9842
se	0.7098	0.9750
ky	0.6913	0.9706
ir	0.7095	0.9753
fg	0.5679	0.9845
ta	0.7616	0.9872
全体	0.7254	0.9902

時間当たり賃金格差と労働時間格差h25

産業	②-1	④-2
kg	0.6118	0.7801
ke	0.7857	0.9493
z	0.6733	1.0023
de	0.5220	0.9316
jh	0.7931	0.9790
un	0.7548	0.9832
ok	0.6385	1.0008
ki	0.8004	0.9954
fu	0.6267	0.9960
ga	0.8043	0.9918
su	0.7462	0.9865
se	0.7321	0.9660
ky	0.7228	0.9901
ir	0.6718	0.9904
fg	0.5380	1.0598
ta	0.7153	0.9875
全体	0.7043	0.9908

時間当たり賃金格差と労働時間格差h30

産業	②-1	④-2
kg	0.6304	0.5930
ke	0.7498	0.9390
z	0.6829	0.9892
de	0.4889	0.9254
jh	0.7854	1.0030
un	0.7271	1.0090
ok	0.6552	0.9906
ki	0.6864	0.9786
fu	0.6484	0.9968
ga	0.8190	0.9763
su	0.7627	0.9798
se	0.7516	0.9654
ky	0.7307	0.9786
ir	0.7169	0.9912
fg	0.5757	1.0383
ta	0.7510	0.9752
全体	0.7082	0.9852

付表 9-2- a 2009 年

付表 9-2- b 2013 年

付表 9-2- c 2018 年

一人当たり賃金（h21年）

産業	②-1	②-2	積	調査結果
kg	0.5275	1.0420	0.5496	0.695
ke	0.8369	0.9913	0.8296	0.770
z	0.6879	1.0055	0.6917	0.610
de	0.4249	0.9909	0.4211	0.596
jh	0.7413	1.0011	0.7421	0.660
un	0.7543	0.9937	0.7495	0.710
ok	0.6597	0.9966	0.6575	0.580
ki	0.9571	1.0151	0.9715	0.700
fu	0.7037	0.9753	0.6863	0.629
ga	0.8363	0.9852	0.8239	0.740
su	0.7445	0.9830	0.7319	0.680
se	0.7098	0.9722	0.6901	0.660
ky	0.6913	0.9832	0.6797	0.570
ir	0.7095	0.9829	0.6974	0.650
fg	0.5679	1.0075	0.5722	0.549
ta	0.7616	0.9855	0.7506	0.720
全体	0.7254	0.9958	0.7224	0.630

一人当たり賃金（h25年）

産業	②-1	②-2	積	調査結果
kg	0.6118	1.0145	0.6207	0.817
ke	0.7857	0.9748	0.7660	0.740
z	0.6733	1.0002	0.6734	0.610
de	0.5220	1.0216	0.5333	0.579
jh	0.7931	0.9810	0.7780	0.640
un	0.7548	0.9811	0.7405	0.710
ok	0.6385	0.9984	0.6375	0.580
ki	0.8004	0.9972	0.7982	0.660
fu	0.6267	0.9956	0.6240	0.582
ga	0.8043	0.9948	0.8001	0.750
su	0.7462	0.9853	0.7353	0.680
se	0.7321	0.9608	0.7034	0.660
ky	0.7228	0.9948	0.7191	0.620
ir	0.6718	0.9909	0.6657	0.650
fg	0.5380	1.0599	0.5702	0.559
ta	0.7153	0.9845	0.7042	0.670
全体	0.7043	0.9922	0.6988	0.620

一人当たり賃金（h30年）

産業	②-1	②-2	積	調査結果
kg	0.6304	0.9827	0.6195	1.03
ke	0.7498	0.9733	0.7297	0.78
z	0.6829	0.9887	0.6752	0.64
de	0.4889	1.0195	0.4984	0.58
jh	0.7854	1.0052	0.7895	0.73
un	0.7271	1.0044	0.7302	0.72
ok	0.6552	0.9884	0.6476	0.59
ki	0.6864	0.9846	0.6758	0.61
fu	0.6484	0.9935	0.6442	0.62
ga	0.8190	0.9795	0.8022	0.74
su	0.7627	0.9786	0.7464	0.71
se	0.7516	0.9645	0.7249	0.69
ky	0.7307	0.9792	0.7155	0.64
ir	0.7169	0.9924	0.7114	0.7
fg	0.5757	1.0472	0.6029	0.61
ta	0.7510	0.9736	0.7311	0.71
全体	0.7082	0.9887	0.7001	0.65